

地域ブランド化・地域経営に関する講義委託事業

東久留米の観光って？

報告書

平成 27 年 9 月

(株) 石塚計画デザイン事務所

目次

1. 事業の目的	1
2. 事業の実施概要	1
3. 事業の実施内容	2
(1) 第1回講義・ワークショップ	2
■プログラム	2
■内 容	2
■講義テキスト	5
■ワークショップの目的と進め方	24
■ワークショップの成果	24
(2) 第2回講義・ワークショップ	26
■全体プログラム	26
■内 容	26
■ワークショッププログラム	28
■ワークショップの目的と進め方	28
■ワークショップの目的と進め方テキスト	29
■資源カード	36
■ワークショップの成果	47
(3) ファシリテーター研修	51
■研修プログラム	51
■内 容	51
■ファシリテーター研修テキスト	52
4. 今後の東久留米市における観光事業の展開方策等	61
5. 参加者アンケート	65
(1) 第1回参加者アンケート 結果	65
(2) 第2回参加者アンケート 結果	75

1. 事業の目的

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を受け、来訪者へ市の魅力を発信するため、市内の観光をめぐる情報の整理・整備が求められています。本事業は、市の観光資源を有効に活用するため、既存の観光資源を整理し、新たな観光資源の開拓について市民等を対象に講義・ワークショップを実施し、シティセールスへ結びつけることを目的とします。

2. 事業の実施概要

■ 講義・ワークショップ

第1回

テーマ：「東久留米と観光？」学んでみよう新しい観光の姿

日時：8月23日（日） 午後1時～午後3時

場所：市役所7階 701会議室

講師：株式会社石塚計画デザイン事務所 代表取締役 石塚雅明

第2回

テーマ：みんなで考えよう「東久留米らしいおもてなし」

日時：9月13日（日） 午後1時～午後3時30分

場所：市役所7階 701会議室

講師：株式会社石塚計画デザイン事務所 代表取締役 石塚雅明

参加者：市内在住・在学・在勤者、東久留米市地域産業推進協議会委員
市産業政策課職員、その他市の観光に興味・関心のある方

■ ファシリテーター研修

日時：8月23日（日） 午後3時15分～午後4時15分

場所：市役所7階 701会議室

講師：株式会社石塚計画デザイン事務所 代表取締役 石塚 雅明

参加者：東久留米市地域産業推進協議会委員、市産業政策課職員

3. 事業の実施内容

(1) 第1回講義・ワークショップ

■プログラム

開始	時間	内容
13:00		開会
13:00~	5分	挨拶
13:05~	5分	講師紹介、配布資料確認
13:10~	50分	講義「東久留米における観光のあり方を考える」
14:00~	10分	質疑応答
14:10~	30分	ワークショップ「みんなで出し合おう東久留米らしい資源」
14:40~	15分	資源の振り返り
14:55~	5分	閉会后アンケート記入
15:00~		終了

■内 容

講師紹介、配布資料確認などのオリエンテーションの後、「東久留米における観光のあり方を考える」と題して、講師による講義を行いました。講義の内容は、はじめにまず、なぜ、今、観光を考えるのかを、国の観光立国推進閣僚会議の動向から紹介しました。次に、今後の観光動向が個人旅行手配で長期滞在の日本（地域）の自然、歴史文化に触れ、体験するニーズが高まる可能性があることを、訪日外国人の消費動向調査（観光庁）から解説しました。そこで、視点を「観光とまちづくり」に移し、観光の効果を「経済的効果」と「社会的効果」から考え、まちづくりからみた場合、より多くの人が受益することが重要だと指摘しました。あらためて、なぜ、今、観光を考えるのかを、東久留米市にとっての意味から見ると、首都圏のベッドタウンとして子育て世代が「愛着をもって、住んでみたい」まちとしてのブランドづくりと、「観光」を掛け算することで、どのような新しい価値をつくれるかがテーマだとしました。事例として観光とまちづくりの良循環に成功している、滋賀県高島市「生水の郷」の取組を紹介しながら、東久留米市にふさわしい「新しい観光の姿」として、ベッドタウンとして大量の外国人観光客を受け入れるには限界があり、直接的経済効果をもたらす商品（サービス）メニューが少ない現状を踏まえると無い

物ねだりによる投資は大きなリスクにつながることから、1回だけ来る1000人を呼び込むより、10回来てくれる100人を育てることが重要で、そのためには大切にしたいものを明確にし、それを評価する100人の人物像を探る必要があると指摘しました。今後は、リピートや滞在につながる「見る」だけでない体験メニューを考えることが必要で、その際に地域の力（知識、技術、笑顔など）を生かし、どのような「感動や達成感」が生まれるかを具体的にイメージすることが重要だとしました。最後に、あれもこれもではなく「東久留米と言えば〇〇」というブランドづくりを意識した取組となることが重要だと指摘しました。

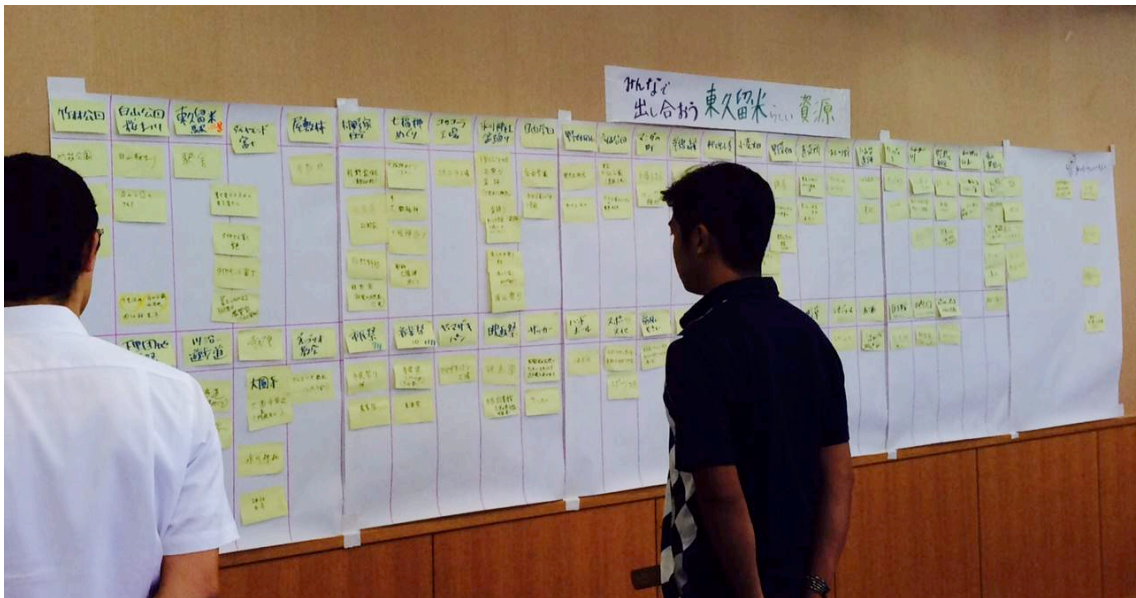
講義に引き続き、後半はワークショップ形式で「みんなで出し合おう東久留米らしい資源」をテーマに、グループに分かれ各々20の資源（風景、自然、建物・施設、行事・イベントなど）を考え、グループ全体で発表し資源の一覧表を作成しました。



講義の様子



ワークショップの様子



ワークショップで出された資源一覧

東久留米の観光って？

第1回

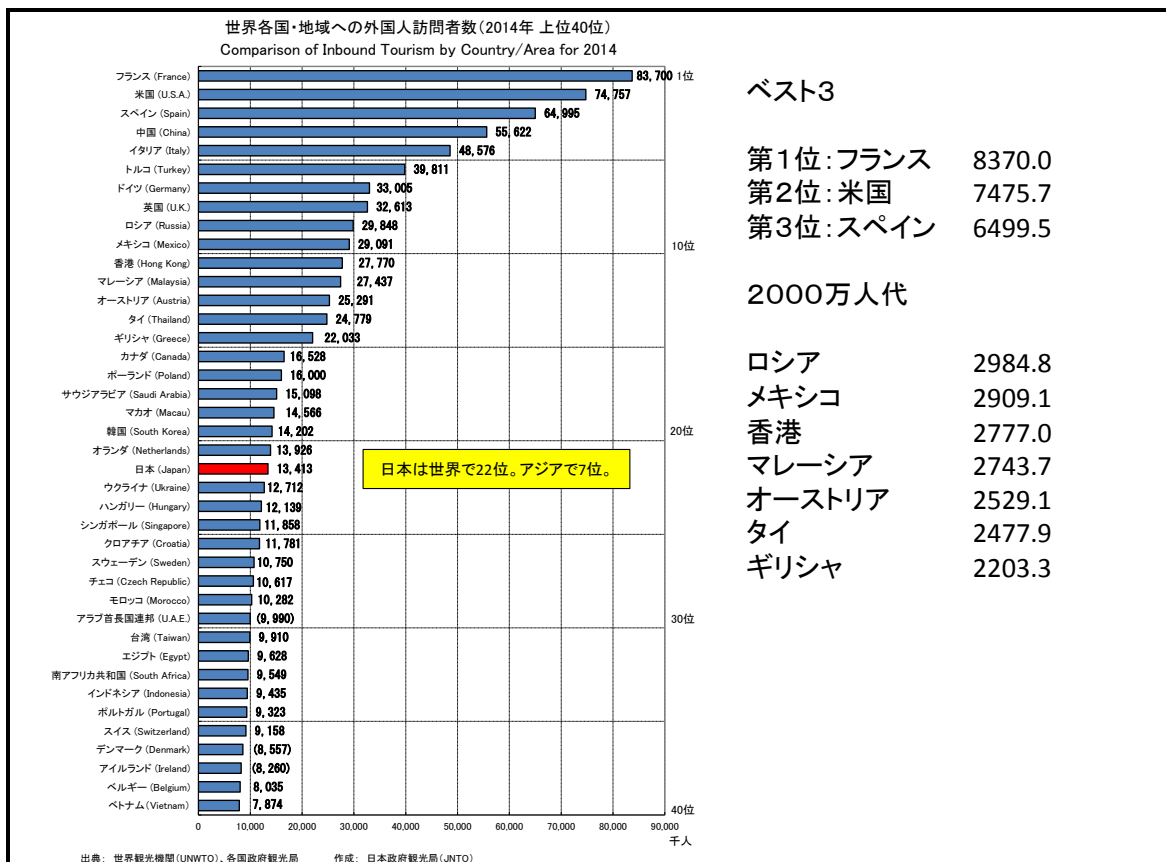
「東久留米と観光？」
学んでみよう新しい観光の姿

第1部 話題提供

「東久留米における観光のあり方を考える」

なぜ、今、観光を考えるのか？

国の動向から



観光立国推進閣僚会議の動向

2013年6月
観光立国実現に向けたアクション・プログラム 決定

2013年
訪日外国人旅行者数は約 1036 万人と、前年の約 836 万人から大きく飛躍

2014年1月
「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会」の開催の機会を捉え、2020年に向けて、訪日外国人旅行者数 2000 万人の高みを目指す

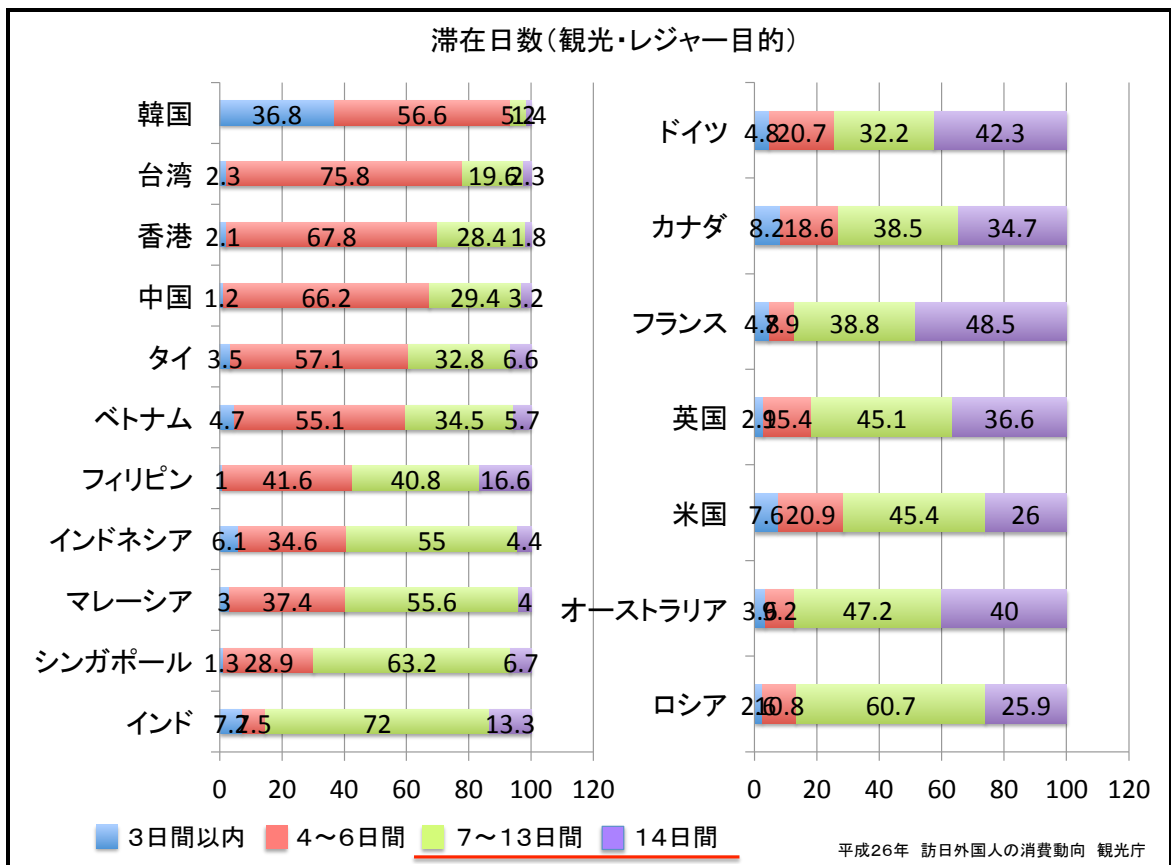
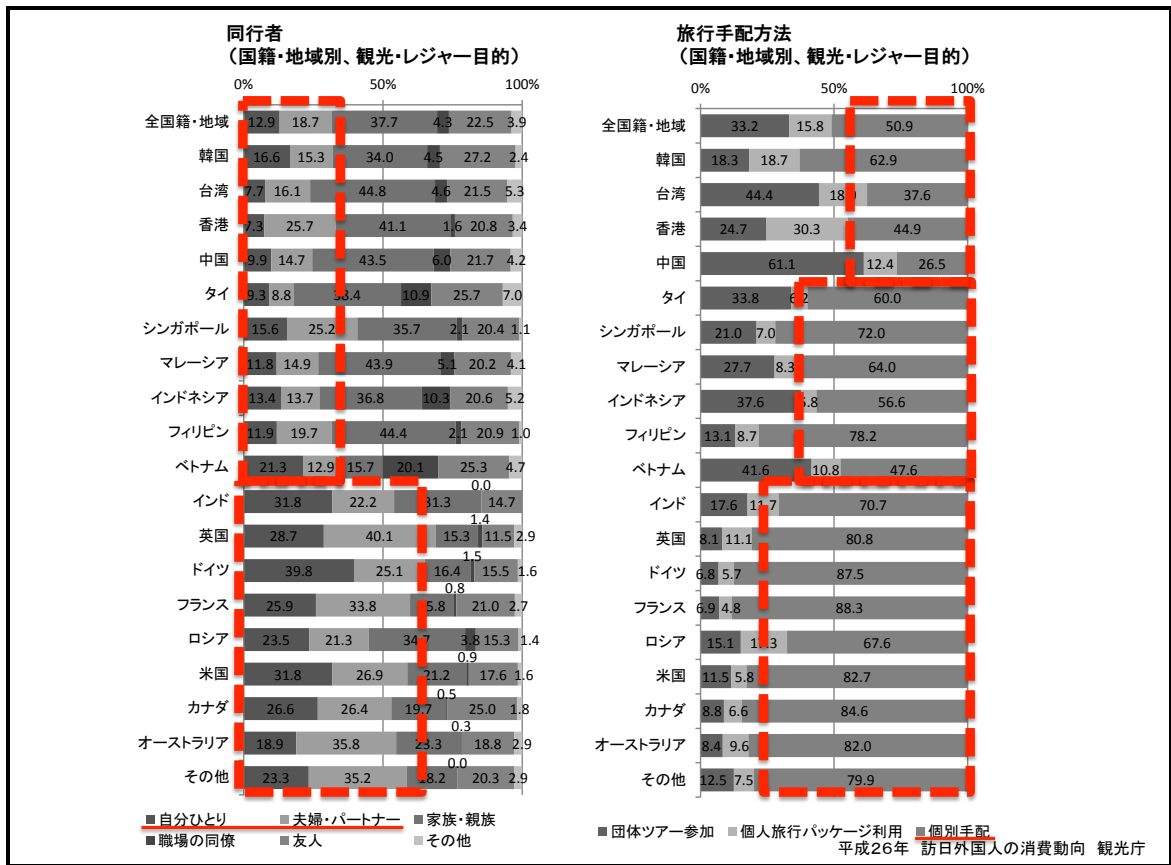
2014年6月
観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014
-「訪日外国人2000万人時代」に向けて- 決定

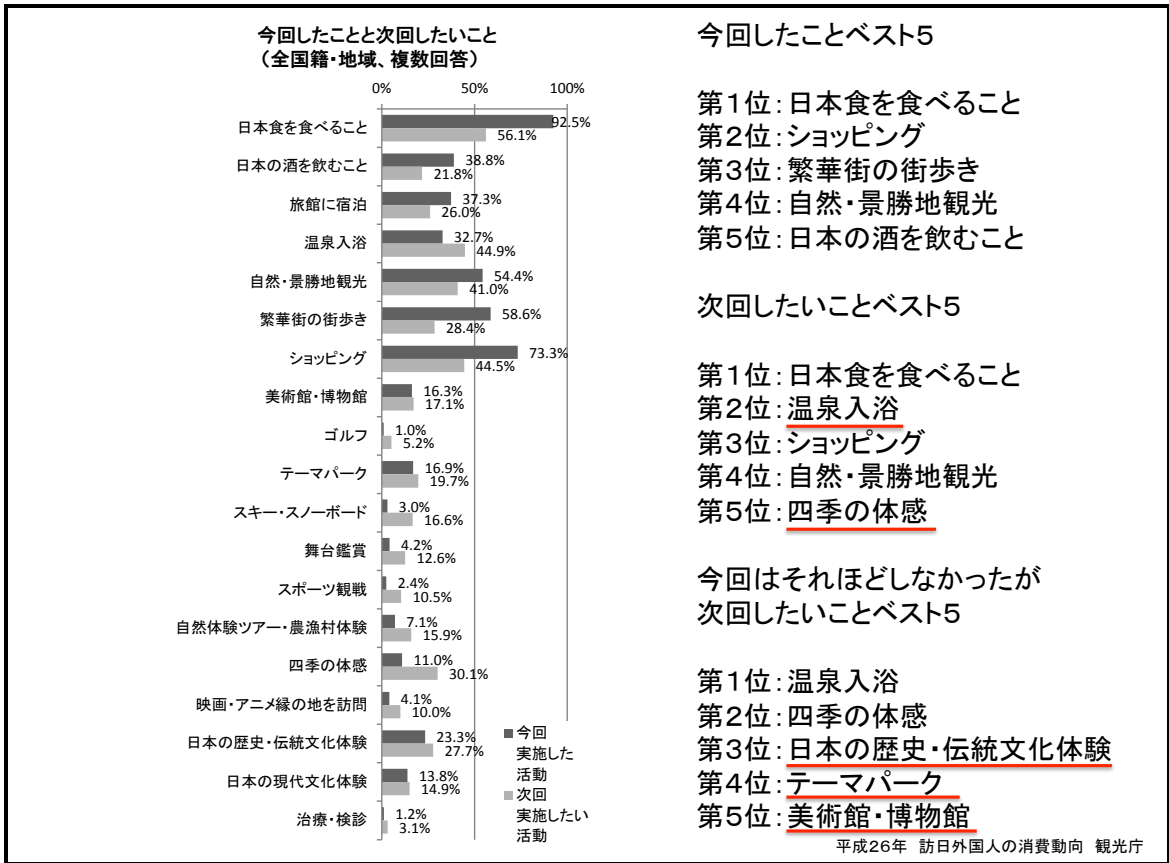
地方創生との連携

2015年6月
観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015 決定
2000 万人が訪れる年に、外国人観光客による旅行消費額 4 兆円
2000 万人が訪れる年に、日本全国で 40 万人の新たな雇用
2020 年を重要な通過点として、その先には、外国人旅行者 3000 万人

今後の観光動向を考える

平成26年 訪日外国人の消費動向(観光庁)から





訪日外国人の今後の観光動向は・・・

自分ひとり、あるいは気心の知れた夫婦・パートナーと

個人で旅行手配をして

長期間滞在しながら

これまでの日本食やショッピング、秋葉原などの繁華街歩きではなく

温泉入浴、四季の体感、日本の歴史・伝統文化体験、美術館・博物館など

少し深く日本(地域)に触れる、体験する

旅行ニーズが高まる可能性がある

観光とまちづくり

まちづくりからみた観光の効果

観光の経済的効果と社会的効果

経済的効果

直接的効果（観光産業における特定の受益）

- ・出荷しなくても、お目当てのものを食べる、買う直接消費が生まれる（そこでしか手に入らない、生産の背景にふれながら手に入れる特産品）
- ・宿泊のための消費が生まれる（他では体験できない魅力あるサービスが提供できる宿泊）

間接的効果（受益の波及）

- ・滞在が長期化すれば日常生活の必需品の消費が生まれる
- ・観光をつうじて知名度が高まることで、ブランド力が高まる

社会的効果（より多くの人への波及）

- ・外からの評価をつうじて、まちに誇りを感じるようになる
- ・他の地域や国の人々と交流することでネットワークが広がる
- ・来訪者への案内や体験の機会づくりをつうじて活躍の場が生まれる

見る

見る＋知る

見る＋知る＋体験する

見る＋知る＋体験する＋触れ合う

見る＋知る＋体験する＋触れ合う＋暮らす

消費機会の増加(直接効果)

滞在動機の増加(間接効果)

接触機会の増加(波及効果)

観光とまちづくり

インバウンド推進のツボ(日本交通公社)から

“数”だけを追わない
何よりも「まちの魅力を保てるかどうか」を重視する

魅力の源泉は“観光資源”だけではない
徹底したこだわりや本物志向も外国人旅行者の心を動かす

とにかく“オール地域”でインバウンドに挑む
最大にして最も効くツボは、“地域の一体感”

「観光×観光」では生まれない新しい魅力もある
化学反応を生むためのキーポイントは「観光以外」にあり

地域の魅力を代弁するイメージの広まりが
「行ってみたい」の第一歩

「訪れる」は最終プロセス
目標は旅行者数ではなくファンの増加

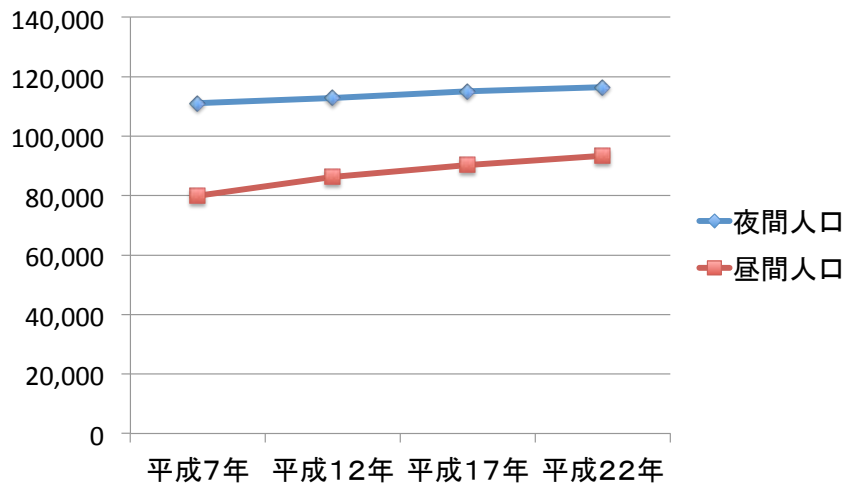
旅行者を感動させるのは語学力ではない
本当の共通言語は“心からのおもてなし”

地域の“とがった”に学ぶ インバウンド推進のツボ ((財)日本交通公社)

なぜ、今、観光を考えるのか？

東久留米市にとっての意味

東久留米市の昼間・夜間人口の推移

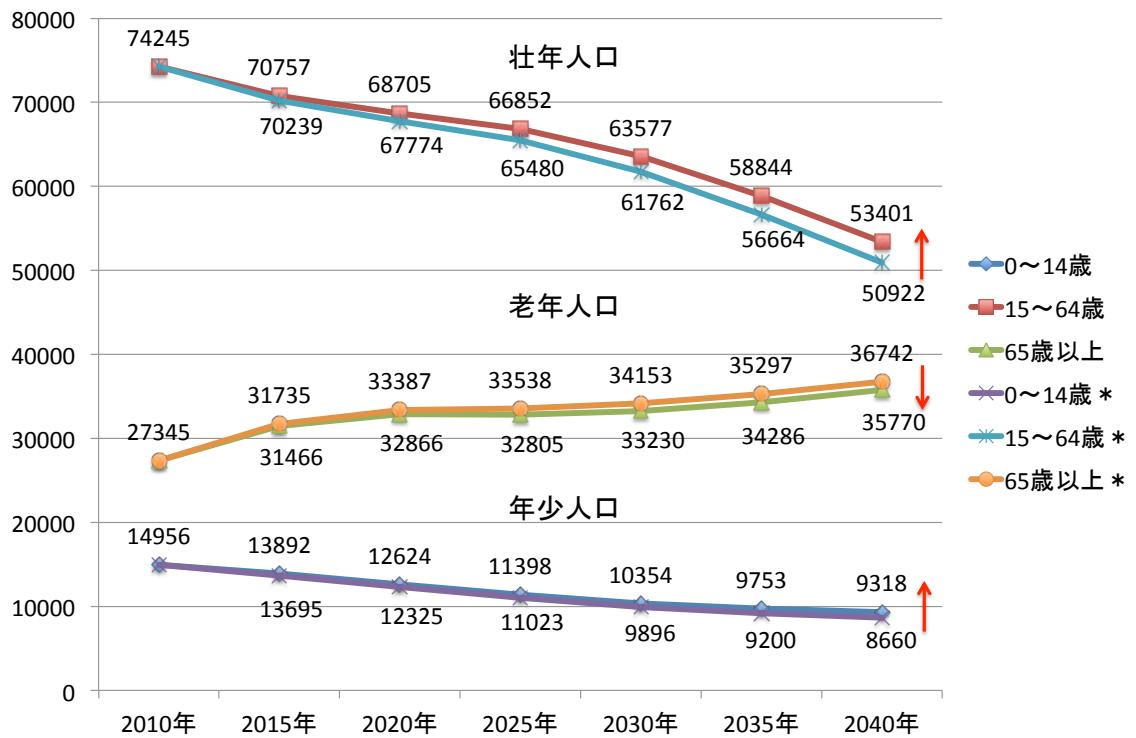


夜間人口＝常住人口 昼間人口＝常住人口＋(流入人口－流出人口)

流入人口、流出人口：通勤者＋通学者の数

国勢調査

東久留米市の将来人口推計(国立社会保障・人口問題研究所(平成25(2013)年3月推計)



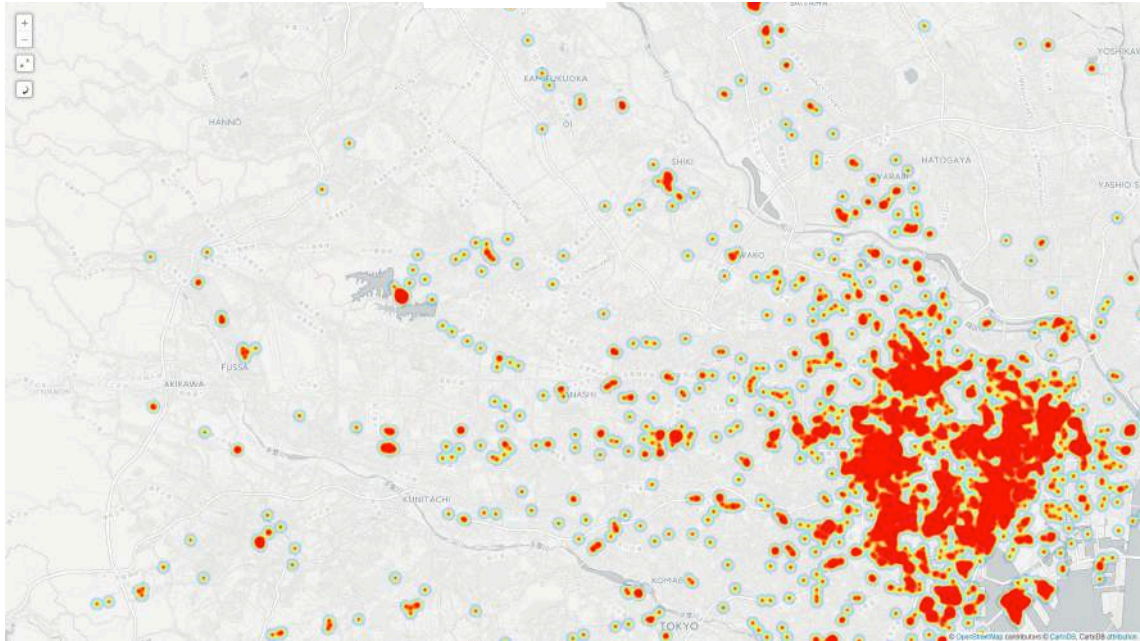
*：人口の流出入が無いと仮定した場合

データ件数

集計期間

21,778件

2015/07/13 ~ 2015/08/13



東久留米市周辺の分析結果



東久留米市は・・・

今後、人口減少が進むと予想されています。

65歳以上の老年人口は増加するとされていますが

働き盛りの壮年人口と、次世代を担う年少人口が減少するとされています。

ただ、首都圏のベッドタウンとして

壮年人口と年少人口が流入してくる可能性があると言われています。

そこに、他の自治体と違う「希望」のひとつがあります。

子育て世代が「愛着をもって、住んでみたい」まちとしての

ブランドをどのようにつくっていくか・・・

そのことと「観光」を掛け算することで、どのような新しい価値をつくれるか。

それが重要なテーマだと思います。

観光とまちづくりの良循環

しょうず

滋賀県高島市「生水の郷」の取組から

事例：生水(しょうず)の郷(滋賀県高島市新旭町針江)

平成26年環境省「エコツーリズム大賞」

比良山系に降った雪、雨が伏流水となり各家庭から非常に綺麗な水がコンコンと湧き出ます。人々はこの自噴する清らかな水を飲料や炊事と言った日常生活に利用しています。このシステムを川端(かばた)と呼んでいます。



2004年1月

NHKハイビジョン番組「里山・命めぐる水辺」が放映



この番組をきっかけに
観光バスも来るようになり
川端(かばた)を見たくて
個人の家に来訪者が勝手に入るように・・・

住民の間に静かな暮らしが脅かされる
という不安が広がった

川端(かばた)は各家庭の台所として今も利用している場所です、プライベートエリアを見学して頂きます。針江地区では見学に来られる方に生水の郷委員会のガイドが付いてゆっくり見学して頂きたいと思っています。

コース記号	コース	見学案内料金 お一人様毎に	食事	集合場所	申込先	予約
A	川端と街並コース	1,000円	無し	針江公民館	生水の郷委員会	前日までに
B	里山湖畔コース	1,000円	無し	針江公民館	生水の郷委員会	前日までに
C	川端と街並コース+里山湖畔コース	2,000円	無し	針江公民館	生水の郷委員会	前日までに
定期ツアー	川端と街並コース+里山湖畔コース	2,500円	軽食付	JR新旭駅	生水の郷委員会	1週間前迄に









柳の枝が茂る、藻が繁殖する、浮遊ゴミが溜まる、流れが悪くなる、水が汚れる、などでやはり人の手が入り里山を守らなければなりません。
委員会では委員会独自で、また行政と共にこのような環境を守る取り組みを行っています。作業に伴う経費、機材の購入には案内料金(環境協力費)の1部を充当しています。



生水の郷委員会HPより

水路を塞いだ藻を刈り取り 2009年は2tダンプ15台分搬出、2010年は同40台分、今年2011年は同60台分を目標に新たに環境保守専用船生水丸(写真右)を改造しました。

近年竹を使う事が少なくなり藪では竹が茂りすぎ景観が悪く、根がはびこり風、日光が入らず病虫害の発生など環境が著しく悪化しています。
委員会では竹を伐採し藪の再生に協力しています、切り出した竹は地域のお年寄りが丁寧に加工し見学者が利き水のコップにお渡ししています。



生水の郷委員会HPより

落差30センチ足らずで発電できる、水力発電です。(左下にプランターが乗っている) 小さな落差で発電できるように、設計には大変苦労いたしました。発電容量は4.8whと少量ですが、LED照明には十分な発電量です。



生水の郷委員会HPより

「生水の郷」の取組から学ぶこと・・・

来るものは拒まず

ただ、大切にすべきコミュニティの安全、安心を守るのを第一に。

「生水の郷」と「川端(かばた)」の環境と生活文化について

正しい理解をしてもらう。

地域の人ならではの心のこもったガイドは、それ自体が「おもてなし」。

有料ガイドはコミュニティビジネスとして

収益は環境保全や環境整備など、地域全体に還元される。

そのことが「地域ぐるみの受け入れ」につながる。

ツアーの途中で紹介される地域の特産品は、特産品の生まれる背景や生産に関わる人が見えることで付加価値が増す。

まちづくりに生きる

新しい観光の姿を考える

東久留米市にふさわしい「新しい観光の姿」・・・

ベッドタウンとして大量の外国人観光客を受け入れるのには限界がある。

直接的経済効果をもたらす商品(サービス)メニューが少ない。

無い物ねだりによる投資は大きなリスクにつながる。

1回だけ来る1000人を呼び込むより、10回来てくれる100人を育てる。

大切にしたいものを明確にし、それを評価する100人の人物像を探る。

(人物像は勧誘アプローチができるまで具体的に)

リピートや滞在期時間を増やすことで、間接的経済効果や波及効果を高める。

リピートや滞在につながる「見る」だけでない体験メニューを考える。

(見る+知る+体験する+触れ合う+暮らす・・・)

体験メニューは地域の力(知識、技術、笑顔)を活かして取り組めるものに。

そこに、どのような「感動や達成感」が生まれるか具体的にイメージする。

あれもこれもではなく「東久留米と言えば○○」というブランドづくりを意識する。

■ワークショップの目的と進め方

みんなで出し合おう東久留米らしい資源

～風景、自然、建物・施設、行事・イベント などなど～

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳

■ワークショップの成果

ワークショップで出された「東久留米らしい資源」は、次のとおりです。

東久留米らしい資源

テーマ	ワークショップで出された資源名	テーマ	ワークショップで出された資源名
水と緑	崖線の緑	施設	東久留米駅 100 選
	竹林公園		柳泉園

	8本の河川	風景	ダイヤモンド富士
	ふれあい川	歴史	屋敷林
	川沿い遊歩道		村野家住宅
	湧水 黒目川		小山台遺跡
	河川の生物		古道
	野鳥も観察	工場	コココーラ工場
	野草		ヤマザキパン
寺社	七福神めぐり	祭り	氷川神社盆踊り
	大圓寺		氷川神社獅子舞
	グレゴリオ教会		下里団地の夏祭
	石仏		市民祭 7月
農業	野火止用水	文化	音楽祭 10・11月
	小麦畑		映画祭
	野菜畑	教育	自由学園
	直売所	公園	六仙公園
	フルーツ狩り		白山公園の桜祭
スポーツ	スポーツ文化	食	しそジュース
	サッカー		お酒
	ハンドボール		柳久窪小麦
	パラリンピックメダリスト在	自治	自主防
その他	マンガの町		
	カッパのクー		
	ゆるキャラ		

(2) 第2回講義・ワークショップ

■全体プログラム

開始	時間	内容
13:00		開会
13:00~	5分	挨拶
13:05~	5分	講師紹介、配布資料確認
13:10~	5分	本日の会の目的と進め方
13:15~	90分	ワークショップ
14:45~	10分	休憩
14:55~	20分	発表：5分/グループ=4グループ 20分
15:15~	10分	振り返りとまとめ
15:25~	5分	閉会后アンケート記入
15:30~		終了

■内 容

講師紹介、配布資料確認などのオリエンテーションの後、講師から前回の振り返りをふまえて、本日のワークショップの目的と進め方を説明した。ワークショップは4グループに分かれ、前回出された資源のなかから、来訪者に知ってもらいたい資源を複数抽出し、資源を活かした体験メニューを考え「資源シート」にまとめました。各グループの「資源シート」の内容を発表し共有しました。

※ワークショップの目的と進め方の詳細は後述。



ワークショップの様子



グループワークの成果

■ワークショッププログラム

開始	時間	内容
13:15~	5分	グループ内自己紹介
13:20~	15分	知ってもらいたい東久留米の資源を考える 資源カードから資源候補を選ぶ 資源カードがない場合は赤付箋紙に記入（個人作業）
13:35~	20分	選んだ資源カードを模造紙に貼り出し、選んだ理由を説明 説明内容をファシリテーターが黄付箋紙に記入し貼り出す
13:55~	10分	資源を活かした体験メニューを考えてみよう 体験メニューを緑付箋紙に記入（個人作業）
14:05~	20分	体験メニューを模造紙に貼り出し説明
14:25~	5分	魅力的と思われる資源と体験メニューにシール投票
14:30~	15分	投票結果をもとに資源シート（5枚以内）にまとめる
14:45		ワークショップ終了

■ワークショップの目的と進め方

ワークショップの目的は「知ってもらいたい東久留米の資源を見つけ、資源を活かした体験メニューを考えてみよう」としました。

ワークショップは4グループに分かれ、前回のワークショップで出された「東久留米らしい資源」を整理した「資源カード（資源名、資源の特徴を表す写真と解説文）」をもとに、どの資源を「訪れる人に知ってもらいたいか」を考え、その後、「資源を活かした体験メニュー」を考え、「こんな資源を活かして、こんなおもてなし（体験）をしよう」という提案を「観光資源シート」にまとめました。

①グループ内自己紹介
②資源カードから資源候補を「7枚以内」選ぶ（個人作業） *資源カードがない場合は赤付箋紙に記入
③選んだ資源カードを模造紙に貼り出し、選んだ理由を説明 *説明内容をファシリテーターが黄付箋紙に記入し貼り出す
④資源を活かした体験メニューを緑付箋紙に記入（個人作業）
⑤体験メニューを模造紙に貼り出し説明
⑥魅力的と思われる「資源と体験メニューの組み合わせ」にシール投票
⑦投票結果をもとに資源シート（5枚以内）にまとめる

東久留米の観光って？

第1回

「東久留米と観光？」 学んでみよう新しい観光の姿

東久留米市にふさわしい「新しい観光の姿」・・・

ベッドタウンとして大量の外国人観光客を受け入れるのには限界がある。

直接的経済効果をもたらす商品(サービス)メニューが少ない。

無い物ねだりによる投資は大きなリスクにつながる。

1回だけ来る1000人を呼び込むより、10回来てくれる100人を育てる。

大切にしたいものを明確にし、それを評価する100人の人物像を探る。

(人物像は勧誘アプローチができるまで具体的に)

リピートや滞在期時間を増やすことで、間接的経済効果や波及効果を高める。

リピートや滞在につながる「見る」だけでない体験メニューを考える。

(見る＋知る＋体験する＋触れ合う＋暮らす・・・)

体験メニューは地域力(知識、技術、笑顔)を活かして取り組めるものに。

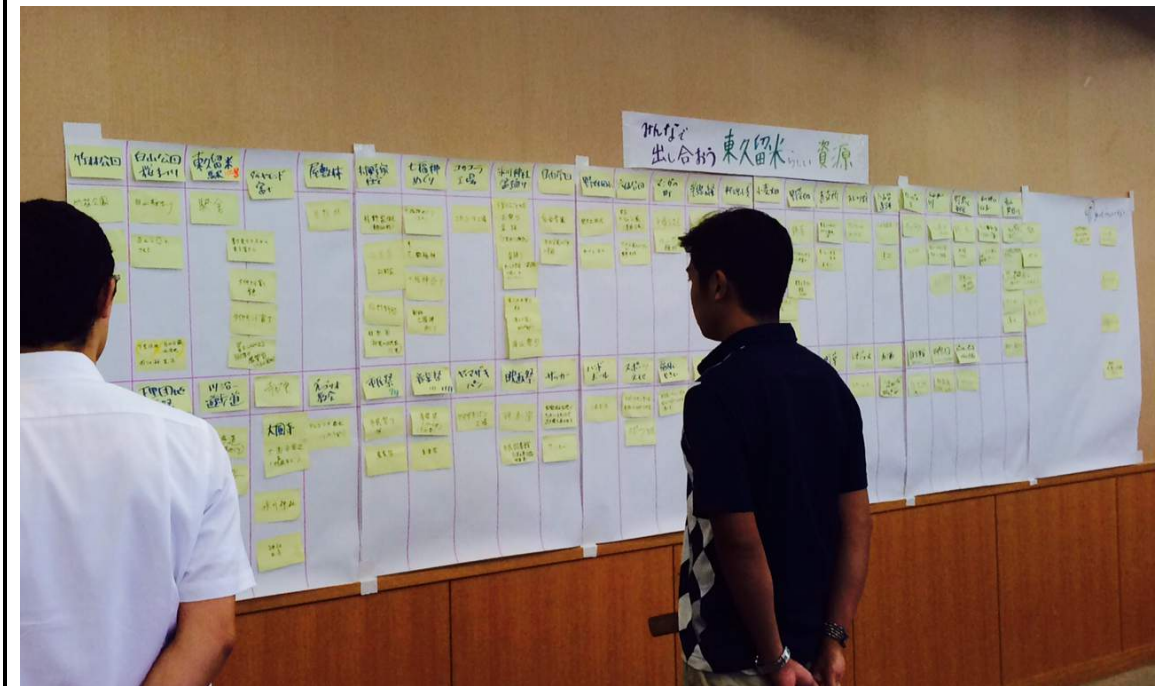
そこに、どのような「感動や達成感」が生まれるか具体的にイメージする。

あれもこれもではなく「東久留米と言えば○○」というブランドづくりを意識する。

ワークショップ
「みんなで出し合おう東久留米らしい資源」



ワークショップ
「みんなで出し合おう東久留米らしい資源」



東久留米の観光って？

第2回

みんなで考えよう
「東久留米らしいおもてなし」

ワークショップの時間割

開始	時間	内容
13:15~	5分	グループ内自己紹介
13:20~	15分	<u>「訪れる方に知ってもらいたい東久留米の資源を考える」</u> 資源カードから資源候補を選ぶ 資源カードがない場合は赤付箋紙に記入(個人作業)
13:35~	20分	選んだ資源カードを模造紙に貼り出し、選んだ理由を説明 説明内容をファシリテーターが黄付箋紙に記入し貼り出す
13:55~	10分	<u>「資源を活かした体験メニューを考えてみよう」</u> 体験メニューを緑付箋紙に記入(個人作業)
14:05~	20分	体験メニューを模造紙に貼り出し説明
14:25~	5分	魅力的と思われる資源と体験メニューにシール投票
14:30~	15分	投票結果をもとに資源シート(5枚以内)にまとめる
14:45~	10分	休憩
14:55~	20分	ワークショップ成果の発表
15:15~	10分	振り返りとまとめ

ワークショップの目的と進め方

知ってもらいたい東久留米の資源を見つけ、
資源を活かした体験メニューを考えてみよう

- ① グループ内自己紹介
- ② 資源カードから資源候補を「7枚以内」選ぶ(個人作業)
* 資源カードがない場合は赤付箋紙に記入
- ③ 選んだ資源カードを模造紙に貼り出し、選んだ理由を説明
* 説明内容をファシリテーターが黄付箋紙に記入し貼り出す
- ④ 資源を活かした体験メニューを緑付箋紙に記入(個人作業)
- ⑤ 体験メニューを模造紙に貼り出し説明
- ⑥ 魅力的と思われる「資源と体験メニューの組み合わせ」にシール投票
- ⑦ 投票結果をもとに資源シート(5枚以内)にまとめる

資源カード



模造紙での作業イメージ



理由説明

複数選ばれたら重ねて貼る



理由説明



理由説明



理由説明

理由説明

理由説明

追加資源

理由説明



理由説明



理由説明

資源カードを貼る時は貼って剥がせる両面テープで

選んだ理由を書き留める

追加資源

理由説明

資源カードに無い資源もOK

東久留米の資源

を見る

を見る＋知る

を見る＋知る＋体験する

を見る＋知る＋体験する＋触れ合う
(交流する)

を見る＋知る＋体験する＋触れ合う＋暮らす
(交流する)

消費機会の増加(直接効果)

滞在動機の増加(間接効果)

接触機会の増加(波及効果)

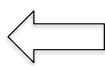
模造紙での作業イメージ

資源ごとにマーカーで枠取りをしてわかりやすく

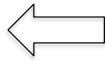
体験メニューのアイデアを資源の隣に貼る

アイデアを出した人に説明してもらおう

シール投票



もっとも魅力的だと思う
「資源と体験メニューの組み合わせ」
には「1」のついたシールを貼ります



それ以外に魅力的だと思う
「資源と体験メニューの組み合わせ」
には数字の無いシールを貼ります

模造紙での作業イメージ

自由学園

南沢湧水群

柳菰天神社

竹林公園

海合川いこの水辺

さいから窪

1番シールやシールの数が多かった資源をマーカーで強調

東久留米の魅力を感じてもらおう

観光資源シート

G

こんな資源を活かして

こんなおもてなし(体験)を

■資源カード

前回のワークショップで出された資源を、名称等を精査すると同時に、講師が現地調査を行い、同様のテーマで資源としての可能性があるものを加え、「資源カード（(資源名、資源の特徴を表す写真と解説文)）」を作成しました。

テーマ	ワークショップで出された資源名	資源カード名
水と緑	崖線の緑	崖線の緑
	竹林公園	竹林（たけばやし）公園
		小山緑地保全区域
		氷川台緑地保全地域
	8本の河川	8本の河川
	ふれあい川	
	川沿い遊歩道	落合川いこいの水辺
		しんやま親水広場
	湧水 黒目川	さいかち窪
		南沢湧水群
	河川の生物	身近に出会える様々な生物
	野鳥も観察	
	野草	身近に出会える野草
施設	東久留米駅 100 選	100 選に選ばれた東久留米駅
		東久留米駅「富士見テラス」
	柳泉園	柳泉園
		東久留米市役所
		スターハウス
風景	ダイヤモンド富士	ダイヤモンド富士
歴史	屋敷林	屋敷林の道
	村野家住宅	村野邸
	小山台遺跡	小山台遺跡公園
	古道	今も残る古道
寺社	七福神めぐり	七福神めぐり
	大圓寺	大圓寺（だいえんじ）
		柳窪天神社

		浄牧院（じょうぼくいん）
		宝泉寺（ほうせんじ）
		多聞寺（たもんじ）
		米津寺（べいしんじ）
		南沢氷川神社
	グレゴリオ教会	聖グレゴリオの家
	石仏	様々な言われのある石仏
工場	コカコーラ工場	コカコーラ工場見学
	ヤマザキパン	ヤマザキパン工場見学
祭り	氷川神社盆踊り	下里氷川神社盆踊り
	氷川神社獅子舞	（前掲）南沢氷川神社
	下里団地の夏祭	下里団地の夏祭
	市民祭 7月	市民祭（市民みんなのまつりと同）
文化	音楽祭 10・11月	音楽祭
	映画祭	ドキュメンタリー映画祭
教育	自由学園	自由学園
農業	野火止用水	野火止用水
	小麦畑	（後掲）柳久保小麦と小麦畑
	野菜畑	東久留米の野菜畑
	直売所	直売所
	フルーツ狩り	フルーツ狩り
		親子農業体験
公園	六仙公園	六仙公園
	白山公園の桜祭	白山公園の桜並木
		野草園
		南沢水辺公園
		落合川水生公園
スポーツ	スポーツ文化	
	サッカー	サッカーが強い
	ハンドボール	ハンドボール
	パラリンピックメダリスト在	パラリンピックメダリスト
		クライミングウォール

食	しそジュース	しそジュース
	お酒	日本酒「ひがしくるめ」
	柳久窪小麦	柳久保小麦と小麦畑
自治	自主防	自主防災の取組
その他	マンガの町	マンガの町
	カッパのクー	カッパのクー
	ゆるキャラ	湧水の妖精るるめちゃん

自由学園

資源カード



創設者の羽仁吉一、もと子夫妻の「子どもの考える力を育てる」という強い思いで、10万㎡の広いキャンパスを「生活即教育」の実践の場として90年を越え多くの人材を育てています。

学園内の5つの建物が「東京都選定歴史的建造物」に選定されています。

さいかち窪

資源カード

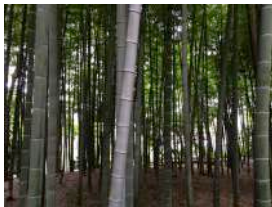


東京都環境局HPより

黒目川の源流で、雑木林に囲まれた窪地。数年に一度、湧水が見られるとして「幻の泉」とも呼ばれています。

竹林公園

資源カード



約2000本の孟宗竹に囲まれ、「東京の名湧水57選」に選ばれた湧水の流れを見ることができます。静寂なその風景は「新東京百景」のひとつとなっています。

落合川いこいの水辺

資源カード



東久留米市パンフレットより



落合川の河畔遊歩道では四季の植物を楽しめ、水辺にはカモなどの野鳥の姿が見られます。直接水と親しむことができ、夏場は子どもたちの遊び場になっています。

柳窪天神社

資源カード



東久留米市HPより

神社の境内には、市の有形文化財に指定されている柳窪梅林碑があります。また、柳窪天神社のお囃子は市の無形民俗文化財に指定されています。

ダイヤモンド富士

資源カード



東久留米市HPより

冬至の前後には、東久留米駅西口の富士見テラスから、富士山の真上に夕日が落ちる様子が見られ、その瞬間を見ようと多くの方が訪れます。

南沢湧水群

資源カード



落合川流域の南沢地域では一日に約1万トンの流量があり、周辺の豊かな樹林と水辺が一体となって、さまざまな生物を育んでいます。「落合川と南沢湧水群」として「平成の名水百選」に選ばれています。

浄牧院(じょうぼくいん)

資源カード



文安元年(1444)開基と伝えられています。樹齢約400年のカヤの大樹があり、市の天然記念物になっています。

宝泉寺(ほうせんじ)

資源カード



承和5年(838)の開基と伝えられています。本尊は阿弥陀如来。本堂の手前には、およそ300年前のものと言われる薬師堂があります。珍しい姿の子育て地藏尊などがあります。

六仙公園

資源カード



六仙公園は、北多摩地域における緑の拠点として計画されました。雑木林等の武蔵野の原風景を再現し、「南沢緑地」の涵養地となるよう、また、災害時等の避難広場としての防災機能をもった公園として整備する予定です。

多聞寺(たもんじ)

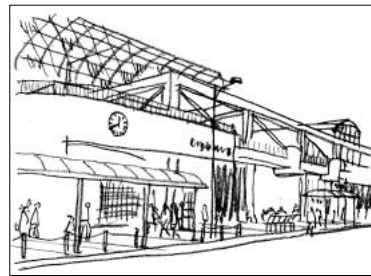
資源カード



元仁(げんにん)年間(1224)の開基と伝えられています。毘沙門天(多聞天)を本尊とし、学問の神、除災招福の御利益があるとして信仰を集めています。

100選に選ばれた東久留米駅

資源カード



スターハウス

資源カード



旧ひばりが丘団地の星形住宅(スターハウス)53号棟が保存され、当時の面影を感じることができます。昭和35年に皇太子・皇太子妃が視察され、実際にお立ちになられたベランダをメモリアルとして保存されています。

コカコーラ工場

資源カード



昭和38年(1963)よりコカ・コーラ社製品の製造を続けている歴史ある工場で、缶・ビン・PETボトル製品の製造工程をガイドが案内してくれます。

大圓寺(だいえんじ)

資源カード



天安2年(858)に開基されたと伝えられています。門前には市内最古の庚申塔や馬頭観音が並んでいます。

米津寺(べいしんじ)

資源カード



1660年に米津家(よねつきけ)二台目の米津出羽守田盛公が開基した寺で、本尊は千手観音菩薩。多摩地方で唯一の大名の墓所がある寺として知られています。

小山緑地保全区域

資源カード



東京都環境局HPより

古くから小山台遺跡として知られている緑地で、「小山の森」として親しまれているコナラ、クヌギの雑木林の他、以前からあった茶畑も現状のまま保全し、毎年、小学生がお茶摘み体験をしています。

柳久保小麦と小麦畑

資源カード



東久留米市HPより

1851年から伝わる「柳久保小麦」を復活し、それをもとにうどん、かりんとう、饅頭など様々な商品を開発して、まちおこしを目指しています。

村野家住宅

資源カード



東久留米市HPより

天保9年(1838)に建てられたに建てられた主屋は茅葺の屋根で、市内で唯一現存する江戸時代の茅葺民家です。農村風景を今に伝える貴重な文化財として、主屋等7件が国登録有形文化財となりました。

野草園

資源カード



落合川と黒目川の合流点の旧河川敷を利用し、200種類を超える野草が植えられています。春には市民参加による野草園づくりの作業が、春秋には観察会も開かれています。

南沢氷川神社

資源カード



東久留米市HPより

創建時期は定かではありませんが、前後を川に囲まれた高台に位置し湧水の守護神として祀られてきました。4年に1度、江戸時代から伝わる南沢獅子舞が奉納される賑わいを見せます。

落合川水生公園

資源カード



東久留米市HPより

住宅地の中にある小さな公園ですが、園内には池もあり、その池を囲むようにして多くの樹木や草花が咲き乱れるなど、地域住民にとっては「憩いの公園」となっています。

南沢水辺公園

資源カード



市民参加型の公園です。ボランティア団体が植えた花々や木々が、周囲の自然環境と一体となって、心地よい空間をつくっています。

東久留米駅「富士見テラス」

資源カード



東久留米市HPより

東久留米駅西口に設置された富士見テラス。晴れた日には正面に富士山が望めます。冬の「ダイヤモンド富士」を眺望するお立ち台としても有名です。

直売所

資源カード



東久留米市/パンフレットより

東久留米市内には、季節ごとに新鮮でおいしいとりたての野菜や果物、花などの農産物を販売する直売所が80ヶ所以上あります。

七福神めぐり

資源カード



東久留米七福神めぐりガイドより

開催! 東久留米七福神めぐりは、毎年1月に開催されているウォーキングイベントです。七福神が祀られた5つの寺院を巡り、1年の幸せを祈願するとともに、黒目川・落合川沿いの自然あふれるコースをお楽しみいただけます。

東久留米市役所

資源カード



東久留米市/パンフレットより

市庁舎の一階には「市民プラザ」と名前のついた広々としたロビーがあり市民に親しまれています。市庁舎の前の広場では時々フリーマーケットが開催され賑わっています。

白山公園の桜並木

資源カード



東久留米の桜の名所です。滝山団地に挟まれた道の桜のトンネルも見事です。

氷川台緑地保全地域

資源カード



東久留米市/パンフレットより

コナラ、クヌギ、エゴノキ、ヤマザクラなどの広葉樹が多い雑木林を散策できます。アカマツが混じり、若葉の芽吹く時季には、林全体をやわらかな木漏れ日が降り注ぐ風景に出会えます。

屋敷林の道

資源カード



東久留米市/パンフレットより

久留米西団地から「さいかち窪」へ至る道は、旧農家の屋敷と、それを囲むケヤキの大木などの屋敷林と生垣が多く見られ、昔の面影が残る道となっています。

しんやま親水広場

資源カード



東久留米市/パンフレットより

黒目川に架かる柳橋から宮裏橋の間に広がる親水広場。だれでも気軽に水と触れ合える憩いの空間です。

市民みんなのまつり

資源カード



東久留米市/パンフレットより

毎年11月に、まろにえ富士見通りで開催される。路上には、市内の商工業者などが出店する屋台が並び、東久留米産野菜の販売・品評会や、市内の小・中学生などが出演するアトラクションなど、たくさんの催しが行われます。

親子農業体験

資源カード



東久留米市パンフレットより

農作業の大変さや収穫のよこびを体験することで、親子で都市に残る農地や緑の大切さを感じ取ってもらいたいという思いで、毎年実施されています。

クライミングウォール

資源カード



東久留米スポーツセンターにあるクライミングウォールでは、日本選手権がひらかれるなど、クライマーのメッカになっています。

小山台遺跡公園

資源カード



東久留米市パンフレットより

縄文時代の住居跡を復元して整備した小高い丘にある公園です。先土器時代(約2万年前)の大昔から人々が生活していたことが知られています。

湧水の妖精るめちゃん

資源カード



ひがしくめのわき水で生まれた妖精の女の子。くるとカールした髪の毛がチャームポイント★手の水かきを使った農作業が得意で、季節ごとに色々な畑に行ってお手伝いしているよ!

河童のクウ

資源カード



黒目川を舞台にしたアニメーション映画「河童のクウと夏休み」(“Summer Days with Coo”)が2007年に公開されました。2009年には黒目川で、500人を超える子ども達が一斉にゴミを拾う大イベント「黒目川「河童のクウ」クリーン作戦」が始まりました。

「河童のクウと夏休み」ポスター

身近に出会える野草

資源カード

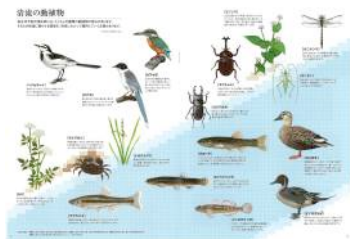


「西武・武蔵野パートナーズレジャーミニ園地より」

まちのあちこちで、四季折々の野草に出会えます。

清流の鳥や魚

資源カード



東久留米市パンフレットより

落合川や南沢湧水群には、たくさんの種類の動植物の営みがあります。

柳泉園(りゅうせんえん)

資源カード

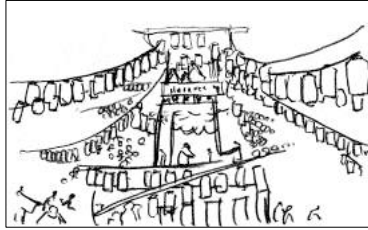


柳泉園総合HPより

清掃場(クリーンボット)の余熱を有効利用した厚生施設です。入浴施設や室内プール、野球場など利用できます。

下里氷川神社の盆踊り

資源カード



下里氷川神社の創建時期は定かではありませんが、下里村の鎮守社だったといえます。毎年8月に行なわれる盆踊り大会には、多くの人が訪れ賑わいを見せます。

ヤマザキパン武蔵野工場

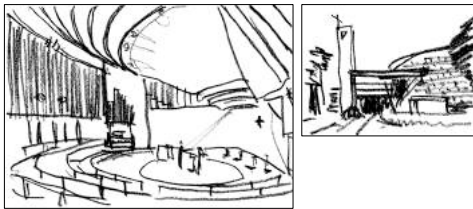
資源カード



昭和38年につくられた工場で土地面積では山崎製パンの工場としては最大です。隣接してヤマザキショップがあり市価より割安で買えます。

聖グレゴリオの家

資源カード



聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所は、祈り、研究、教育を目的として1979年故ゲレオン・ゴールドマン神父を中心に設立され、ミサやコンサートを行うほか教会音楽家の育成に力を入れています。

下里団地の夏祭り

資源カード



漫画のまち

資源カード



東久留米市には手塚治や高橋留美子などの漫画家が住んでいました。「めぞん一刻」の「時計坂」は本市内をモデルにしており、「時計坂駅」も東久留米駅がモデルでした。

ドキュメンタリー映画祭

資源カード



映画祭ポスターより

ドキュメンタリー映画の中から、市民のシール投票で選ばれた作品と実行委員会推薦作品を上映しています。映画館の無い東久留米市ですが、映画の上映会の取り組みは活発です。

音楽祭

資源カード



音楽祭ポスターより

市民プラザでの音楽祭の他、自由学園記念講堂を会場に開催される「南沢音楽祭」、西東京音楽祭in東久留米など、様々な音楽イベントが行われます。東久留米市民吹奏楽団もあり、音楽のまちです。

野火止用水

資源カード



東久留米市ハムレットより

承応4年(1655年)に開削された用水路で、この水により米の生産高が飛躍的に増加したほか、近年まで飲料水など様々な用途に使われていましたが、都市化によって水は止められました。由緒ある野火止用水をよみがえらせようと地域住民の声が高まり、昭和49年に歴史環境保全地域に指定され、下水処理を浄化した水で流れがよみがえりました。

東久留米の野菜畑

資源カード



東久留米には豊かな野菜畑がたくさん見られます。一部は市民農園として活用され市民に親しまれています。

サッカーのまち

資源カード



東京都教育委員会HPより

高校サッカーの強豪校、東久留米総合高校サッカー部をはじめ、様々なクラブチームがあり、さらに中学生以下を対象に将来世界で通用するサッカー選手を育成するなど、サッカーのまちです。

しそジュース

資源カード



東久留米産「赤しそ」100%使用！！
のどごし爽やかか
しそ濃縮ジュース
「しそすっきり」。

日本酒「地酒ひがしくるめ」

資源カード



東久留米の名前を冠した純米酒です。

ハンドボールのまち

資源カード



ハンドボールでは、東久留米市立西中学校女子ハンドボール部が全国優勝しています。また小学生のクラブチーム「東久留米ハンドボールクラブ」も全国大会に出場しています。

フルーツ狩り

資源カード



パラリンピックメダリスト

資源カード

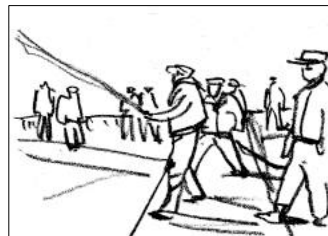


東久留米市HPより

東久留米市出身の小山恭輔選手は北京パラリンピック競泳に出場バタフライで銀メダルを獲得しています。

自主防災の取組

資源カード



滝山住宅管理組合自主防災組織が「東京防災隣組」の認定団体になるなど、東久留米では自主防災の取組が活発に行われています。

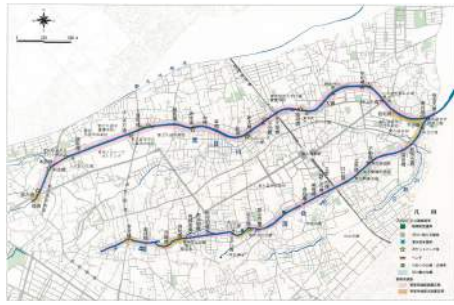
崖線の緑

資源カード



8本の河川

資源カード



■ワークショップの成果

ワークショップをつうじて、各グループでまとめられた「観光資源シート」は以下のとおりです。

1 グループ

こんな資源を活かして	富士見テラス
こんなおもてなし（体験）を	写真コンテスト。 写真スポットを紹介する。

こんな資源を活かして	神社・仏閣
こんなおもてなし（体験）を	ボランティアガイドと巡る（七福神など）。 ガイド、ルートは神社仏閣プラス水と緑を中心に作る。

こんな資源を活かして	地元の野菜
こんなおもてなし（体験）を	作付けから収穫までの農業体験。

こんな資源を活かして	水と緑 湧水、清流、平成の名水百選、水辺の生物
こんなおもてなし（体験）を	ボランティアガイドと巡る（散策コース）（落合川と南沢湧水群コース） ①ボランティアガイド2名で20名までの参加者（事前応募） ②まず春1回、秋1回 ③食べ物（土産品）東久留米産 ・体験メニュー 竹細工（竹を使い）、竹とんぼ作り・竹てっぽう・ジャガイモ堀 ・（ガイド）昔の話、民話、エピソード（休憩所、土産品販売）

2 グループ

こんな資源を活かして	南沢湧水群を中心にした観光コース
こんなおもてなし（体験）を	近隣に無い観光客に感動を与えることができる観光資源（平成の名湧水百選）。ここを中心としてサイクリングコースの設置をすることにより、“水のまち”ブランドを体験する。

こんな資源を活かして	団地を利用して
こんなおもてなし（体験）を	昔の写真を集めて展示。 今現在の写真のコンテスト。

こんな資源を活かして	東久留米の祭り
こんなおもてなし（体験）を	外国人向けに盆踊りや浴衣の体験。

こんな資源を活かして	七福神巡り
こんなおもてなし（体験）を	季節に問わず、四季を通じて行事を行う。

こんな資源を活かして	東久留米駅の富士見テラス
こんなおもてなし（体験）を	富士山は多くの人に感動を与えられる観光資源。東久留米観光のスタート、ゴール拠点として、富士山やダイヤモンド富士などの写真コンテストして外部からも募集。

3 グループ

こんな資源を活かして	食品製造工場
こんなおもてなし（体験）を	ファクトリーツアーを開きたいな・・・

こんな資源を活かして	寺の歴史
こんなおもてなし（体験）を	歴史ガイド付きで巡るツアー。 音楽会、映画会のイベント実施。

こんな資源を活かして	水と緑の自然
こんなおもてなし（体験）を	六仙公園→落合川巡り（ガイド付き）。 「わたしが考える六仙公園」写生大会。

こんな資源を活かして	漫画のまち
こんなおもてなし（体験）を	漫画好き、漫画家の卵の発表の場。 作品内のスポット巡りがしたいな・・・

こんな資源を活かして	親子農業体験-都心部のド田舎-
こんなおもてなし（体験）を	まるごと（日帰り・1泊2日）東久留米ツアー の開催がしたいな・・・ 川遊び、農業、うどん打ち、ほたる、自然観察、 お寺に泊まりたい！

4 グループ

こんな資源を活かして	ダイヤモンド富士+眺望 眺望を活かした街並みづくり → 都内で貴重「本物」
こんなおもてなし（体験）を	ダイヤモンド富士：撮影会、写真コンクール、 展示会（いつも見れないプレミアム感）。 市役所に展望スポット（レストラン）を！！

こんな資源を活かして	六仙公園 色んな目的で楽しめるのかな・・・ →千葉県のアンドルセン公園：行きたい所 Best3→全然勝ち目ありそう！！
こんなおもてなし（体験）を	お花、野草、野鳥、淡水魚 etc.本物の自然とフ ァミリーで過ごせるメニュー。 バス路線 etc.行きやすさを改善する。 市民参加のデザインコンペをやって、公園づく りをやる。

こんな資源を活かして	オンリーワン文化の発信 漫画・スポーツ（サッカー、ハンドボール）・ 小麦をセットで
こんなおもてなし（体験）を	漫画でできた場所巡りツアー（若者、外国人）。 応援ツアー、小学生体験会。

こんな資源を活かして	（既にある）「水辺」「みどり」「遺跡」「街道」 「風景・街並み」＋（これからつくる!）「文 化」
こんなおもてなし（体験）を	ガイド付きで、これらを巡るツアー（おもてな しができる市民を増やす）。 →市民が愛着を高めることができる！！ →若者が入る工夫。 テーマ別をとことん楽しむツアー。 気軽に安く回れるレンタサイクルの活用。

こんな資源を活かして	水辺全体（川、用水、湧水） これだけ「本物」が残っているのが貴重。→ふ たがけ→ちょっとした整備だけで魅力が倍増
こんなおもてなし（体験）を	落合川、黒目川のウォーキングコースを作る。 コースには種類の違う、水辺を効果的組み合せ る。 ガイドが案内。 東久留米の特産品を紹介・販売。

(3) ファシリテーター研修

■研修プログラム

開始	時間	内容
15:15	1分	開会、講師紹介
15:16~	2分	本日の研修の目的と進め方
15:18~	7分	ファシリテーターの役割（笑顔と頷きと書留め）
15:25		第2回ワークショップの予行演習 開始
15:25~	2分	参加者自己紹介
15:27~	3分	第2回ワークショップの目的と進め方
15:30~	5分	ステップ1：資源カードを選んでみよう
15:30~	10分	ステップ2：資源カードの発表（選んだ理由）
15:30~	5分	ステップ3：資源を活かした体験メニューを考えてみよう
15:30~	10分	ステップ4：シール投票と資源シートまとめ
16:05~	5分	成果の発表
16:10		第2回ワークショップの予行演習 終了
16:10~	5分	振り返りと質疑
16:15		閉会

■内 容

第2回のワークショップの進行役を育成する「ファシリテーター研修」を、東久留米市地域産業推進協議会委員、市産業政策課職員を対象に行いました。

研修の目的と進め方などのオリエンテーションの後、ワークショップの特徴とファシリテーターの役割について説明の後、ファシリテーターの重要なスキルのうち、「笑顔と頷き」と「意見を書き留める」ことが重要であることを、その理由や実践の留意点を交え解説しました。その後、第2回のワークショップの実際の進行をもとに、講師の実演、参加者の演習を行い、最後に質疑応答をつうじて進行の理解を深めました。

東久留米市 ファシリテーター研修

第2回「東久留米の観光って？」
ワークショップに向けて

ワークショップはひとつの話し合いの方法

ワークショップは、ひとつの話し合いの方法ですが
討論（ディベート）とは、大きな違いがあります

討論
（ディベート）

他人に対して、自分の主張を論理的に示し納得させる。
勝つか負けるかの論争。

ワークショップ

他人の意見に耳を傾け、互いに何かを気づいたり学びあったり、創り出したりする場。

ファシリテーターって何？

Facilitate : 容易にする 促進する

ワークショップのファシリテーターは、話し合いの進行役ですが、参加者の意見を積極的に引き出し、参加者同士が互いの意見に触発され発想する、創造的な議論を促す役割を担います。

自分の主張を展開したり、議論を決まった方向に誘導したりしてはいけません。

良いファシリテーションと参加者の感想

- いろいろな人と話し合えたのが良かった
- 他の人の話は、とても参考になった
- 今まで、気づかなかったことをいろいろ発見した
- 進行役の人にずいぶん助けられた
- 最初はバラバラな気がしたが、だんだん皆の意見の方向が見えてきたのは感動した
- こんなに長い時間話し合うかとうんざりしたが、やってみると、あっという間に時間が過ぎた
- 参加してとても楽しかった、次回が楽しみ



良いファシリテーションの重要スキル

- ① 常に「笑顔とうなづき」を忘れない
- ② 意見をどんどん書き留める

笑顔とうなづきは、話し合いの基本

- 発言しやすい雰囲気をつくるのに「笑顔」は最も大切に効果的！
- 思わず笑顔で返したくなる、素敵な笑顔を練習しましょう
- 発言に耳を傾けている(受け止めている)姿勢を示すには「うなづき」が効果的！



とにかく、書き出してみよう！

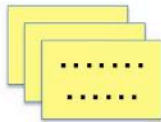


一人ひとり、自分の意見を書き出してみましょう。そうすることで、主体的に問題と向き合うことができるし、誰もが意見を言うきっかけもつくれます。

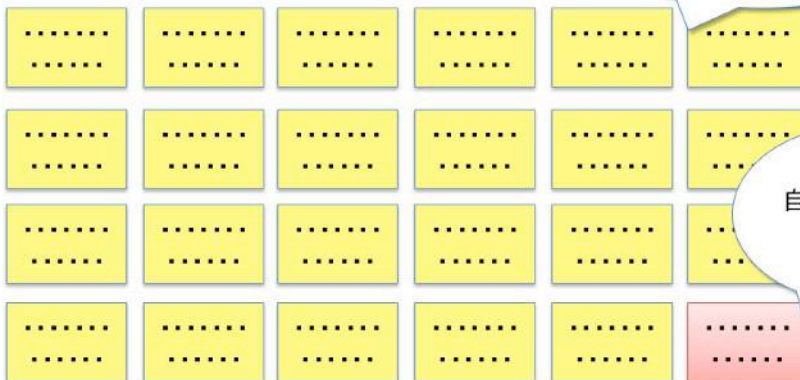
発言を書きとめることの意味

記憶には限界があります

一人が3つの意見を言ったとしたら...



8人が議論に参加していたら24の意見になります



頭のなかですべてを把握するのは不可能！？

自分の意見に固執する

意見を書き出すときの留意点

言葉は簡潔に、わかりやすく。見やすさも配慮を。
体言止めより「動詞」など言葉に動きを。「形容詞」も。

ダメな書き出し

公園は緑豊かでフリーマーケットも
出来る場所がいいが、ホームレスの
たまり場になっては困る

住民の役割

緑豊かな公園にしよう

複数意見

抽象的

小さな文字

良い書き出し

公園は
緑豊かに
フリーマーケット
出来る場所が
ホームレスの
たまり場は困る

管理は住民で
行おう

緑豊か^な
公園にしよう

ワークショップの目的と進め方

外国人に知ってもらいたい東久留米の資源を見つけ、
資源を活かした体験メニューを考えてみよう

① グループ内自己紹介

② 資源カードから資源候補を選ぶ(個人作業)
* 資源カードがない場合は赤付箋紙に記入

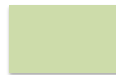
③ 選んだ資源カードを模造紙に貼り出し、選んだ理由を説明
* 説明内容をファシリテーターが黄付箋紙に記入し貼り出す

④ 資源を活かした体験メニューを緑付箋紙に記入(個人作業)

⑤ 体験メニューを模造紙に貼り出し説明

⑥ 魅力的と思われる「資源と体験メニューの組み合わせ」にシール投票

⑦ 投票結果をもとに資源シート(5枚以内)にまとめる



ワークショップの時間割

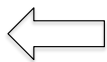
実施当日の時間割

開始	時間	内容
13:15~	5分	グループ内自己紹介
13:20~	15分	外国人に知ってもらいたい東久留米の資源を考える 資源カードから資源候補を選ぶ 資源カードがない場合は赤付箋紙に記入(個人作業)
13:35~	20分	選んだ資源カードを模造紙に貼り出し、選んだ理由を説明 説明内容をファシリテーターが黄付箋紙に記入し貼り出す
13:55~	10分	資源を活かした体験メニューを考えてみよう 体験メニューを緑付箋紙に記入(個人作業)
14:05~	20分	体験メニューを模造紙に貼り出し説明
14:25~	5分	魅力的と思われる資源と体験メニューにシール投票
14:30~	15分	投票結果をもとに資源シート(5枚以内)にまとめる
14:45		ワークショップ終了

資源カード



シール投票



もっとも魅力的だと思う
「資源と体験メニューの組み合わせ」
には「1」のついたシールを貼ります



それ以外に魅力的だと思う
「資源と体験メニューの組み合わせ」
には数字の無いシールを貼ります

模造紙での作業イメージ

自由学園

理由説明

体験メニュー

1

1

1

竹林公園

理由説明

理由説明

理由説明

体験メニュー

●

●

南沢湧水群

理由説明

体験メニュー

柳森天神社

理由説明

追加資源

理由説明

たいから産

理由説明

体験メニュー

●

体験メニュー

1番シールやシールの数が多かった資源をマーカーで強調

追加資源

1

理由説明

体験メニュー

●

体験メニュー

こんな**資源**を活かして

こんな**おもてなし(体験)**を

4. 今後の東久留米市における観光事業の展開方策等

■訪日外国人の今後の観光動向

平成26年の訪日外国人の消費動向調査（観光庁）で、旅行手配方法に着目すると、欧米では個人手配が8割を超える国が多いですが、アジア圏でも個人手配が5割を超える国としてフィリピン、インド、シンガポール、マレーシア、韓国、タイ、インドネシアなどが挙げられます。一方、近年、来日が急増している中国は3割に満たず、団体ツアーが6割以上を占めています。今後の動向としては、旅行経験を増すにつれ欧米のように個人手配が増加することが予想されます。

また、同行者に着目すると、自分ひとり、あるいは気心の知れた夫婦・パートナーと行く割合は欧米では5割を超える国が多いですが、アジア圏では3割に満たないのが現状です。アジア圏では家族・親族で行く割合が高いのは生活文化にもとづくものかもしれませんが、今後の動向としては、自分ひとり、あるいは気心の知れた夫婦・パートナーと行く割合が増加することが予想されます。

さらに、滞在日数を見ても、欧米では7日間以上が8割近く占め、14日間以上も4割近い国が多いのに対して、アジア圏では、特に東アジアでは7日間以上が3割、14日間以上では0.5割にも満たないのが現状です。これは労働習慣の違いかもしれませんが、今後の動向としては、リタイア後の高齢者の増加などから滞在日数の増加が予想されます。

今回したことと、次回したいことベスト5を比較すると、次回したいことに「繁華街の街歩き」と「日本の酒を飲むこと」のかわりに「温泉入浴」と「四季の体感」が入っています。また、今回に比べ次回したいこととして上回ったもののベスト5を見ると、「温泉入浴」と「四季の体感」に加え、「日本の歴史・伝統文化体験」「テーマパーク」「美術館・博物館」が挙げられています。

これらのことから、今後は、個人で旅行手配をして、自分ひとり、あるいは気心の知れた夫婦・パートナーと長期間滞在しながら、これまでの日本食やショッピング、秋葉原などの繁華街歩きではなく、温泉入浴、四季の体感、日本の歴史・伝統文化体験、美術館・博物館など、少し深く日本（地域）に触れる、体験する旅行ニーズが高まる可能性があると言えます。

■まちづくりからみた観光の効果

観光の効果は経済的効果と社会的効果があると考えられます。さらに経済効果は直接的効果と間接的効果があると考えられます。

直接的効果は、観光産業における特定の受益を指します。わざわざ出荷しなくても、来訪者がお目当てのものを食べる、買う直接消費が生まれる効果があります。その際には、そこでしか手に入らない、生産の背景にふれながら手に入れる特産品が重要な価値を生みます。また、宿泊のための消費が生まれるという効果もありますが、その際にも他では体験できない魅力あるサービスが提供できる宿泊が重要な価値を生みます。

それに対して、間接的効果は観光産業に限らず広く受益の波及が見込まれる効果です。滞在が長期化すれば日常生活の必需品の消費が生まれる可能性があります。さらに、観光をつうじて知名度が高まることで、地域のブランド力が高まるという効果が期待できます。

社会的効果は、経済効果に限らず、より多くの人への波及が期待される効果です。例えば、来街者を受け入れることで、「外からの評価をつうじて、まちに誇りを感じるようになる」「他の地域や国の人々と交流することでネットワークが広がる」「来訪者への案内や体験の機会づくりをつうじて活躍の場が生まれる」ことなどが期待され、それは経済効果よりさらに多くの人たちが享受できる効果となります。

来街者の行動も、見る＋知る＋体験する＋触れ合う＋暮らすと交流の次元が高まるにつれ、直接的経済効果から間接的経済効果へ、そして社会的効果へ効果の裾野が広がっていくことが期待されます。

■東久留米市の将来と観光

東久留米市の将来人口想定では、今後、人口減少が進むと予想されています。65歳以上の老年人口は増加するとされていますが、働き盛りの壮年人口と、次世代を担う年少人口が減少するとされています。

ただ、転入転出による社会増減を加味した場合には、首都圏のベッドタウンとして壮年人口と年少人口が流入してくる可能性があると考えられています。そこに、他の自治体と違う「希望」のひとつがあると考えられます。

子育て世代が「愛着をもって、住んでみたい」まちとしてのブランドをどのようにつくっていくか。そして、そのことと「観光」を掛け算することで、ど

のような新しい価値をつくれるか。それが重要なテーマだと思います。

■東久留米市にふさわしい「新しい観光の姿」

東久留米市はベッドタウンとして、良好な住環境を維持しつつ大量の外国人観光客を受け入れるのには限界があると考えられます。また、観光をつうじた直接的経済効果をもたらす商品（サービス）メニューが少ないという現状もあります。

無い物ねだりによる外国人を中心とした観光客の受け入れや直接的経済効果をもたらす商品（サービス）の開発への投資は大きなリスクにつながる可能性があります。

東久留米市の現状を踏まえて、まちにふさわしい「新しい観光の姿」を考えると、1回だけ来る1000人を呼び込むより、10回来てくれる100人を育てるという戦略が重要と考えます。大切にしたいものを明確にし、それを評価する100人の人物像を探る。そして人物像は勧誘アプローチができるまで具体的なターゲット像を考えることが重要だと思います。

リピートや滞在期時間を増やすことは、間接的経済効果や社会的波及効果をも高めることにもつながります。そのためには、リピートや滞在につながる「見る」だけでない体験メニュー（見る＋知る＋体験する＋触れ合う＋暮らす・・・）を考えることが重要です。さらに、体験メニューは地域力（知識、技術、笑顔）を活かして取り組めるものにするすることで、間接的経済効果や社会的波及効果をも高めるだけでなく、体験する側の地域の生活や文化に触れたいというニーズにも答える魅力が増すことが期待されます。そこに、どのような「感動や達成感」が生まれるか具体的にイメージした、体験メニューづくりが大切です。

東久留米市には、自然、歴史文化、生産、生活など様々な面で魅力的な資源がありますが、あれもこれもではなく「東久留米と言えば〇〇」というブランドづくりを意識することが、今後、重要と考えます。

■ワークショップにみる「東久留米らしい資源」と「資源の活かし方」

今回のワークショップをつうじて、特に今後の資源活用の可能性のある「東久留米らしい資源」として、「南沢湧水群や落合川などの水と緑の自然」「神社、仏閣やそこに祀られる七福神などの歴史文化」「ダイヤモンド富士のようにここで見られない眺望」「都心に近いなかで触れられる農業」「漫画やスポーツ

など若者にもアピールできる新しい文化」などが複数のグループで挙げられていました。

「資源の活かし方」としては、点在する資源をテーマに沿ってネットワーク化し、散歩やサイクリングのルートとして整備するのに加え、地元の方によるガイドを育成し、おもてなしの気持ちで交流できる機会をつくる。あるいは、写真や写生などをつうじて資源に触れ合う、さらに収穫体験や収穫物の加工体験の機会を設けるという提案が多く見られた。

取り上げられた資源とその活かし方については、王道であると考えられ、ぜひ実現に向けた取り組みが生まれることを期待したいと思います。

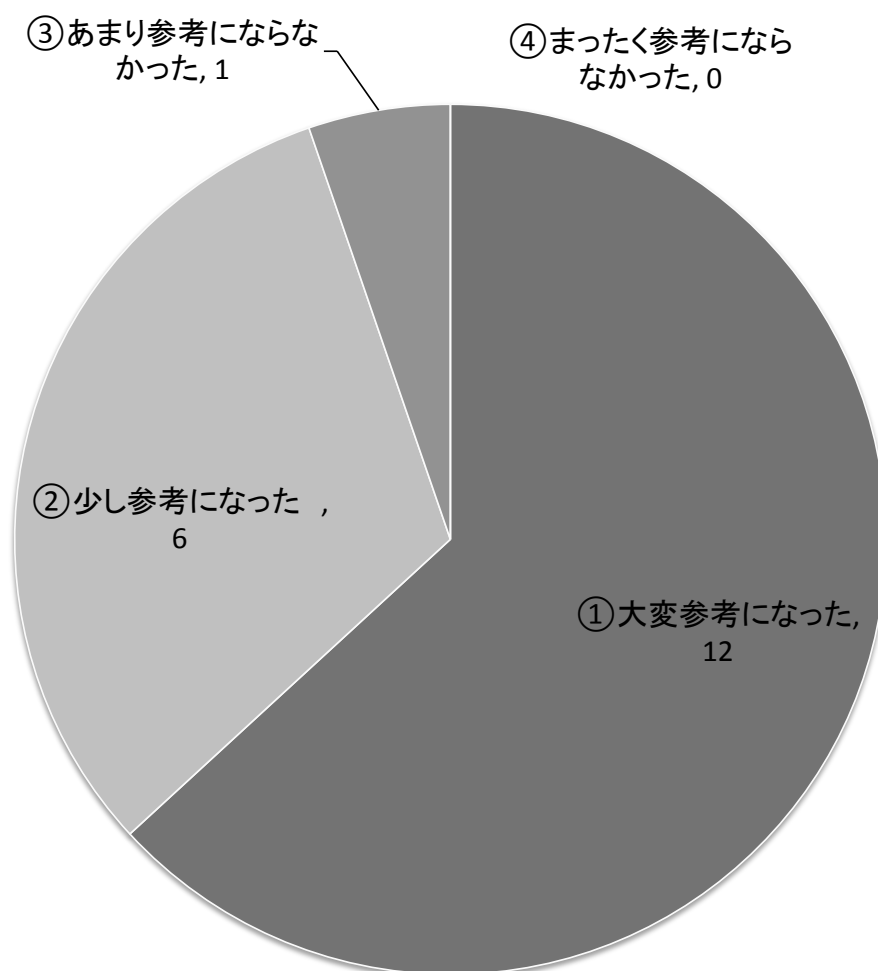
これらに加えて、子育て世代が東久留米市を「愛着をもって、住んでみたい」まちとして認識してもらい、自然や歴史、教育などの資源をつうじて子供たちの笑顔に触れられるまちのブランドが作られれば、今後の個人旅行の増加を背景に、東久留米市ならではの「新しい観光」に結びつくこともおおいに期待できるものと考えます。

5. 参加者アンケート

(1) 第1回参加者アンケート 結果

設問 (1) 本日の講演は、東久留米における観光のあり方を考えるうえで
参考になりましたか？

- ①大変参考になった ②少し参考になった ③あまり参考にならなかった
④まったく参考にならなかった



理由

①を選ばれた方

- ・ 地元の人間。
- ・ 石塚デザイン研究所さんに依頼したことはよかったと思う。継続して欲しい。
- ・ 焦点の集約の仕方。
- ・ 今まで知らなかったことがよくわかった。
- ・ 東久留米市について深く考えることができ、とても良い機会でした。
- ・ 何も知らない事だらけだったので、ワークショップで東久留米に長く住まれている方の話を聞いて参考になりました。

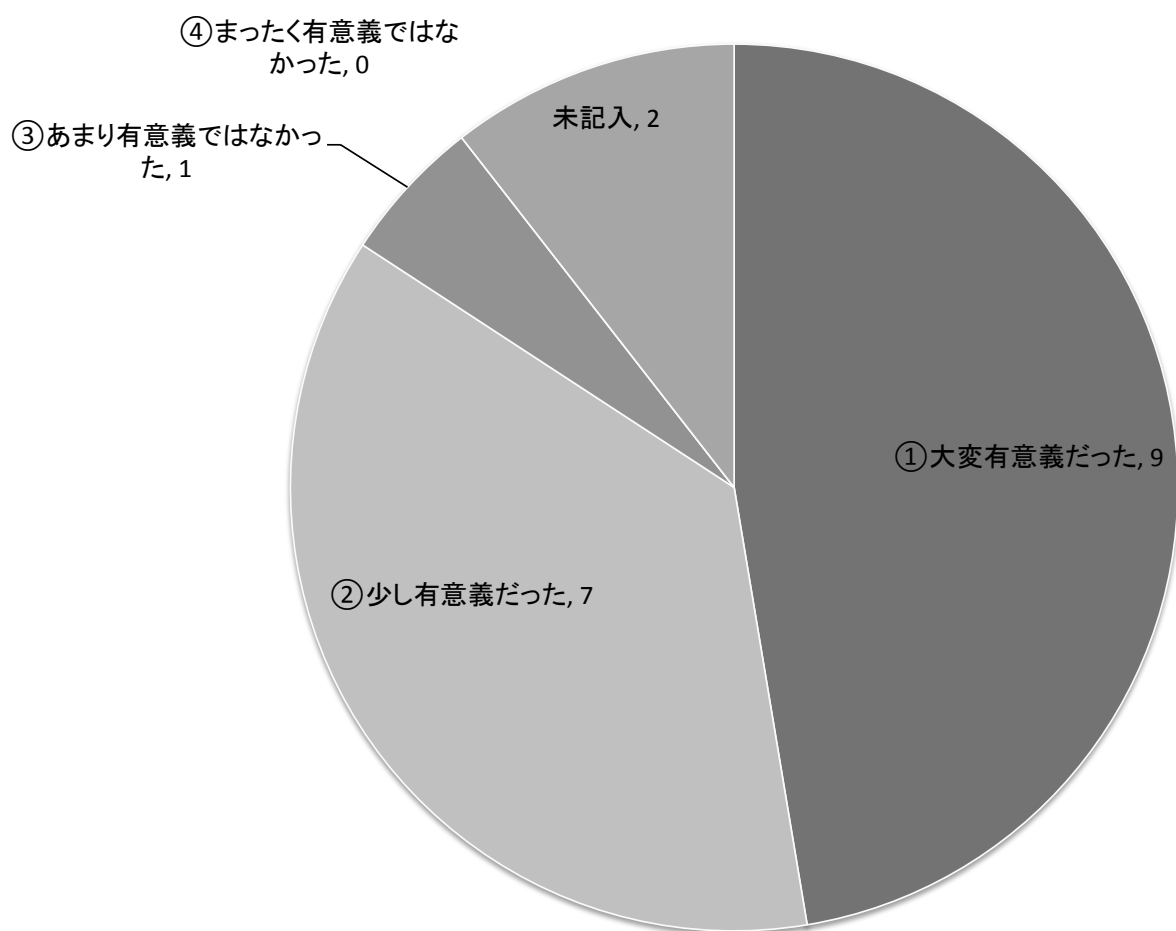
②を選ばれた方

- ・ 観光資源が多数ピックアップされた。これをどう優れた材料にしたてていけるか興味深い。
- ・ 東久留米の売りである水の活かし方が具体的な例を使って紹介されていてわかりやすかった。
- ・ 10 回来てくれる 100 人を育てる。
- ・ 主旨は理解できましたが、今までもこのような取組があったと思う。
- ・ 観光に関する考え方が多少変わった。

③を選ばれた方（未記入）

設問 (2) 本日のワークショップ「みんなで出し合おう東久留米らしい資源」は
有意義でしたか？

- ①大変有意義だった
- ②少し有意義だった
- ③あまり有意義ではなかった
- ④まったく有意義ではなかった



理由

①を選ばれた方

- ・今まで知らないことが多かった。
- ・少人数がグループになって風通しの良い意見が出た。
- ・いろいろな意見が参考になった。
- ・東久留米市に詳しい方々の意見がたくさん聞くことができ、刺激を受けました。
- ・今まで仕事していましたが、東久留米の事がぜんぜん知らなかったのですが、色々な資源があり参考になりました。
- ・資源の活用、市民の意見をうまくまとめることができた。
- ・みなさんで出し合うと、こんなにもあると再認識。
- ・多くの意見を聞くことが出来、たいへん有意義な時間でした。10代20代の若い世代の人の参加が少なく感じました。

②を選ばれた方

- ・時間が足りない（3時間は欲しい）。
- ・観光資源が多数ピックアップされた。これをどう優れた材料にしたてていけるか興味深い。
- ・ブランドは育てるものだな～。
- ・今迄知っていた物以外にも色々出た。
- ・出席者の中にはいろいろな団体にボランティアとして参加しておられる方も多い。誰かの意見にもあったが、そういう団体の方達の代表もメンバーに入れて欲しかった。

③を選ばれた方

- ・他のグループで前からやっています。

(2) の選択肢を選ばれなかった方

- ・市民の方々の意見や考えなどがわかった。

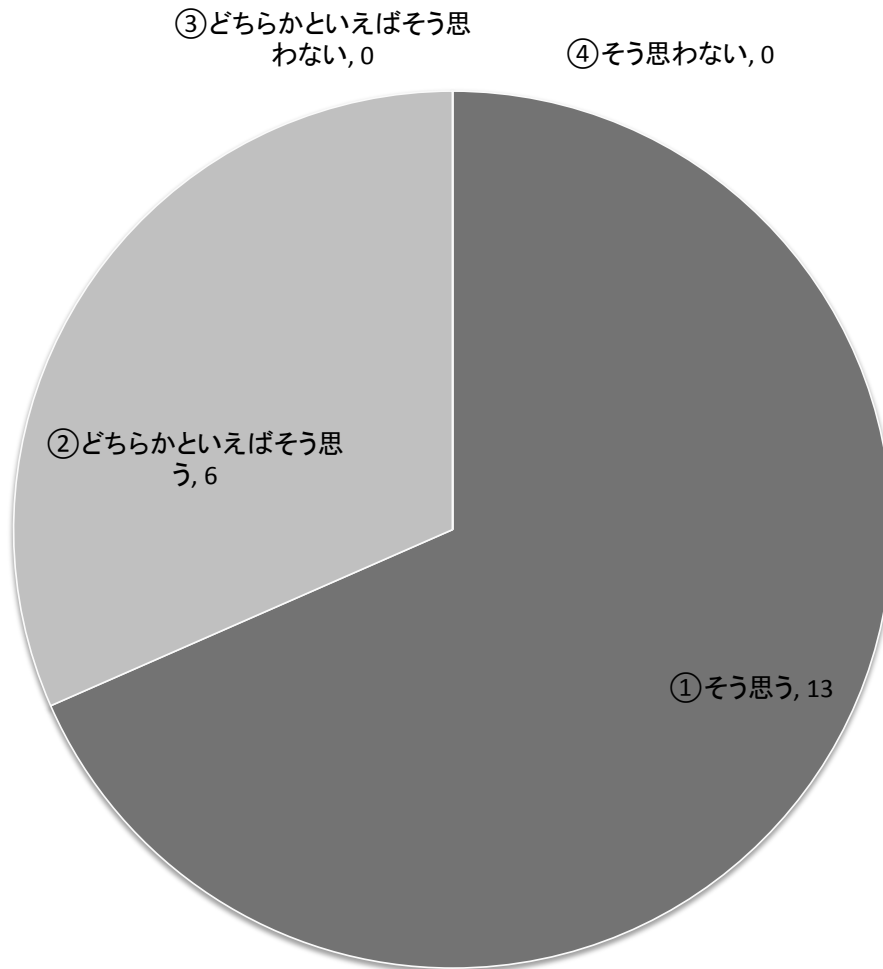
設問 (3) 東久留米市らしさをあらわす資源（風景、行事、体験など）として、
今後も大切にしていける必要があるものは何でしょうか？

東久留米市らしさをあらわす資源

- ・ 自然、行事。
- ・ 武蔵野の雑木林と小川の調和。
- ・ 水。 8本の河川。
- ・ 雑木林などの緑地、農地などが湧水の涵養地となるから大切にしたい。
- ・ 武蔵野の原風景。
- ・ 水とみどりの街を表わす湧水。今日、皆で提案した全ての資源を大切に活かす。
- ・ 豊かな自然。
- ・ 伝統のお祭り（ししまい祭り）。富士見テラス。
- ・ 風景、自然、四季。
- ・ 風景。
- ・ 今の処、わからない。
- ・ たくさんあると思います。
- ・ 自然資源、文化資源、行事資源とか、いろいろあります。資源の宝庫だと思います。
- ・ 子育て世代の活動。子ども祭り。
- ・ 湧水、川、緑、畑、人。
- ・ 自然と歴史。
- ・ 風景、行事などたくさんあるということが知る事が出来ました。それらの自然を守っていくことも大切だと感じた。

設問 (4) 東久留米市にふるさととして愛着を持っていらっしゃいますか？

- ① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない



理由

①を選ばれた方

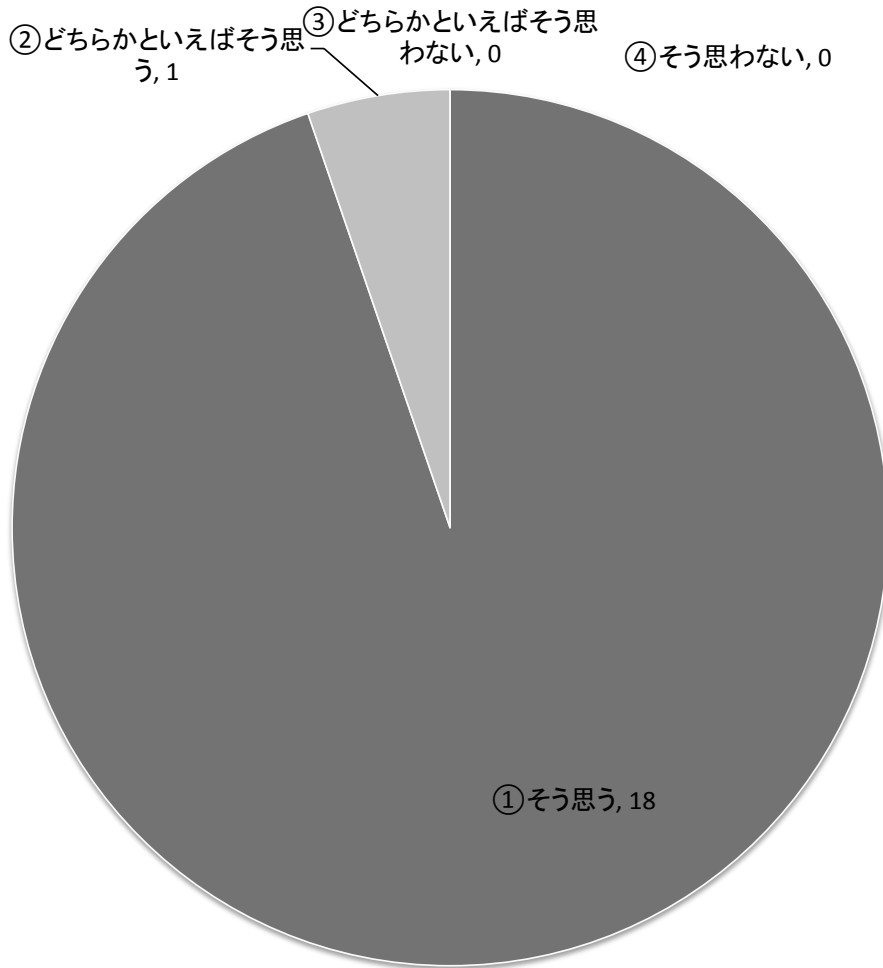
- ・生まれた土地。
- ・水と緑のまちだから。
- ・磨けば光るものがある。生まれ育った者としての愛着は深い。
- ・東京都なのに、こんなに自然が美しい所は貴重だと思う。
- ・住みやすい。
- ・約 20 年間ずっと住んでいるので、とても大好きな町です。
- ・平成 4 年からだが、良い所です。
- ・昭和 34 年から住んでいるから。
- ・これからは自転車で東久留米の町を回って勉強したいと思います。
- ・40 年も住んでおり、知人も多く、市でのボランティアもずっとやっておりますので。
- ・自然がいっぱいあり、人々が優しい。文化的・歴史的にもおもしろいところが沢山ある。
- ・東久留米市で育ってきて、東京にいながら子どものころからカブトムシを捕まえたり、東久留米で自然とふれあってきた。

②を選ばれた方

- ・第 2 又は第 3 の故郷となっている。(第 1 は生まれ故郷なので)
- ・自然や農地などが良い。
- ・44 年間住み続けている為。

設問 (5) 今後も東久留米市に住み続けたいと思われませんか？

- ① そう思う ② どちらかといえばそう思う ③ どちらかといえばそう思わない ④ そう思わない



理由

①を選ばれた方

- ・ 60年以上住んでいる。
- ・ 天然災害（地震、水害）に強いので。
- ・ 水と緑のまちだから。
- ・ 水と緑に恵まれた天与の街と思われる。
- ・ この街は住んで居心地が良い街だから。
- ・ のんびりしていてすごしやすい。
- ・ 治安もよく、将来子どもにも東久留米のよさを知ってほしいです。
- ・ 自然がまだある所。
- ・ 住民サービスは良くないけれど・・・。
- ・ 野菜の直売所があり、季節の物がいただけるのは有難いです。
- ・ もちろん住みます。
- ・ この頃、NPO 法人のメンバーがいろいろな面で活躍をしていて、行事、催しも魅力的なものが増えて嬉しい。住みやすい街だと思う。
- ・ 長男の自営なので。
- ・ 子供たちにすばらしいまちを残していきたい。孫にも楽しんでもらいたい。
- ・ 都心に行くのにも便利で自然が残る。東久留米に帰ってきたいと思う。

②を選ばれた方

- ・ 清瀬市は禁煙にしているので参考にして、東久留米市も空気のきれいな健康市をめざして。

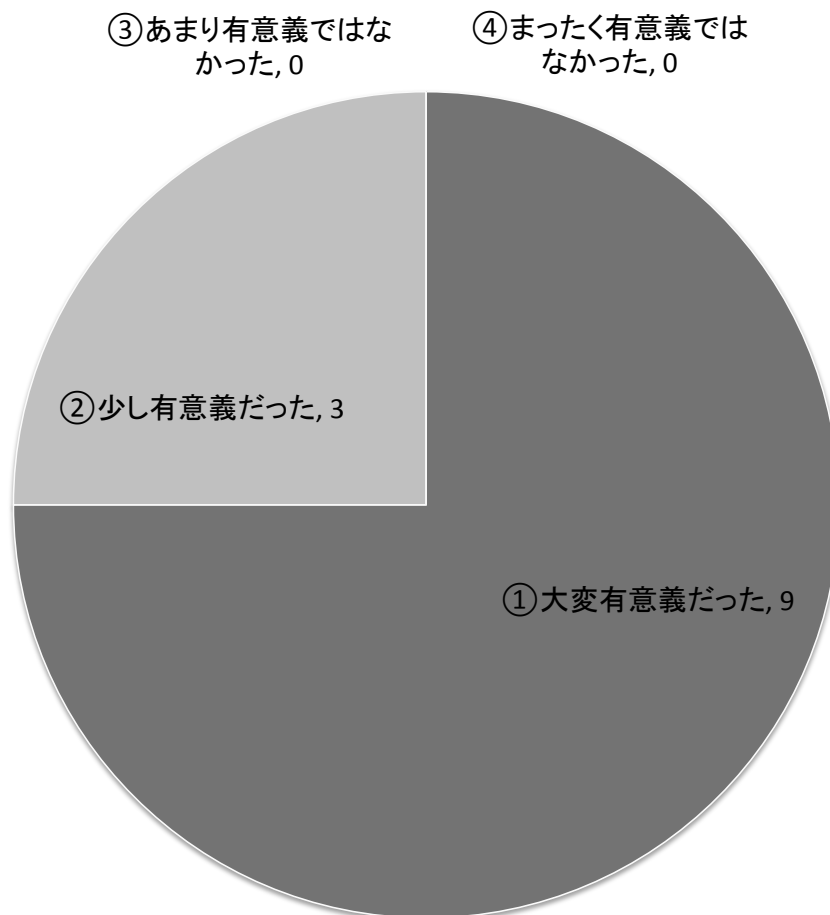
設問 (6) 今後、東久留米市の観光を推進していくうえでご意見があれば
お聞かせください。

- ・ 東久留米市の知名度を上げる仕掛けを作る。
- ・ 周辺の街との競合はさける。そのためには調査をし、場合によっては総合化、振り分けも考える。外国人を目標にするのは早い。まずは都心からのお客様を目標に。
- ・ 国際観光都市になる資源があると思っています。都心から近い。清流とみどりがある。ホテルがない。
- ・ 次回、集約化などが予定されている筈であるが、それを実行することがまず大切。逆に実行しやすいことから始める。
- ・ 産業界、市民団体等の参加、そして盛上げが必要と思われる。そのための戦略の構築が、市政を中心として望れる。
- ・ 以前からこの街の資源は観光になる！と思い続けていました。しかし、個人が思っている、その受け皿がなく、市民が個々大切にしているといった状態でした。今回、役所が、この件について動いてくださった第一歩として、非常に期待して今日出席しました。この機会に市民だけでなく、都内から、又、他市町からこのやさしい街へ訪ねてくださる観光を立ち上げることを希望しています。
- ・ 若い世代に向けて何か発信していくことができれば、その世代の子や孫にまで東久留米を宣伝できるかなと思いました。本日はありがとうございました。
- ・ 観光ボランティアガイドを設置していくこと（教育、勉強会、クラブで）
- ・ 今まで活動している人達を取りたてて行くべきです。
- ・ 資源のミックス的な考え方をしないとうまくいかないと思う。
- ・ インターネットの活用、放送情報。
- ・ 体験出来る物があまり無い。
- ・ まず市民が自分のまちをよく知ることに、そしてたのしむこと。それには積極的に参加出来るイベントを作り、この街の良い所を発見してほしい。自然を守るにはそれなりの費用がかかることも頭に入れて考えなくてはならない。
- ・ 若い人の参加が少ないと感じたので、若い人にもこういうものに参加しやすいようにしてほしいです。

(2) 第2回参加者アンケート 結果

設問(1) 本日のワークショップ「みんなで出し合おう東久留米らしい資源」
は有意義でしたか？

- ①大変参考になった ②少し参考になった ③あまり参考にならなかった
④まったく参考にならなかった



理由

①を選ばれた方

- ・具体的な方向性が見えて来た。ワンステップ進んだ。
- ・普段聞けない話を多く聞いた。
- ・“楽しい”ということとビジュアル効果。小中学校の授業でも使える面白さがよかったです。
- ・参加者がしぼって少なくなったが、とても良かった。東久留米の観光資源が **OnlyOne** であるものが多いことが解り、是非、観光都市に立ち上げて欲しいと思った。
- ・今までの観光に関する考えが変わった。新たな発見もあった。
- ・今まで自分が考えていたことが確認できた。
- ・高齢の方と、このような話をする機会はなかなかない。
- ・ボランティアガイドの養成の一歩になればと思う。
- ・一般的には、市民でありながら、市内のビューポイントを知らない人が多い。その意味では有意義であった。

②を選ばれた方

- ・選定された資源をどのように活用していくかが問われると思う
- ・今回参加した方々にとっては、知っていた情報だったのたろう。ただ、再認識の点では良いが、・・・そんな場だけで終わるのかな？
- ・もっと独創的意見がでてよい。

設問（２）東久留米のまちの魅力を発信 PR するために、個人や団体でこれまでに取り組まれていることがあれば、教えてください。

- ・会社の OB 会の散歩ツアーを過去 2 回、七福神巡りで実施しました。
- ・ボランティアで「ほとけどじょうを守る会」とか「水辺公園の会」に所属しておりましたが、この頃は様々な NPO 法人が立ち上げられ、活躍されているのが頼もしい。
- ・市民大学の講座でとり上げ、観光のために必要な市民の協力（ガイドボランティアなど etc.）の勉強の場になれば良いと思う。
- ・地産協。
- ・まちの歴史。
- ・特になし
- ・環境の研究会をしている。
- ・特に PR していませんが、イベント（七福神とか、ミニ観光散策コースガイド付）があれば良いと思う。
- ・元気で歩こう会を主宰し、公園めぐり、野菜直売所めぐり、指定文化財めぐりを実施した。

設問（3）東久留米のまちの魅力を発信 PR するために、個人や団体でこれから取り組みたいことがあれば、教えてください。

- 50年後～100年後のために今、何かをしたい。（注）川沿いの桜も昔の人が植えた結果であることを忘れてはいけない。
- SNS などを使って情報発信をしていけたりできるといいと思う。
- 東久留米には様々な団体があり、活動、活躍をしているが（市もかかわって）そういう財産（過去の積み重ね）を生かす工夫をして欲しい。市の行政の横のつながりを生かして欲しい。一つ一つ、プツツン切れで次に生かされていないのが残念といつも思っている。又、各ボランティアの方達の意見の吸い上げもして欲しいと思う。
- この講座が（きっかけで）東久留米市観光課が生まれ、作っていただけらいいと思う。取り組みには受け皿が必要だと思う。
- ここでの経験を地産協でも生かしたい。
- せっかくこれだけの方が集ったのだから、この先が見たかった。
- 町の歴史と自然との関係をアピールしたい。
- 同世代（若い世代）への意識向上。
- 環境自治体研究会のようなものを立ち上げようと思っている。
- 市民大学の講座でボランティア養成講座をつくり、市民ボランティア 30 名をまず養成し、定期的ガイドコース 3 ヶを作る。
- 中期的な計画でボランティアガイドを養成して欲しい。ジャンルとしては指定文化財、水と緑地の保全地域（湧水を含む）、地場野菜 etc.